

2022 年度

日野市高齢者見守り支援ネットワーク  
事業報告書



2023 年 4 月

日野市健康福祉部高齢福祉課



# 目次

はじめに「本業務の概要」	1
本業務の目的	1
これまでの取組	2
<b>第1章「個別の取組の実施支援」</b>	<b>5</b>
1-1 取組の概要	5
1-2 各取組の実施状況	6
1-2-1 はつらつ・あんしん調査	6
コラム 次年度のはつらつ・あんしん調査の調査票	9
1-2-2 「見守り・声かけ」	10
1-2-3 ふれあいサロン	12
コラム コロナ対策 ～CO <sub>2</sub> 測定器の活用	17
1-2-4 見守りメール配信	18
1-3 今年度の取組の達成状況と次年度の対応案	22
<b>第2章「より良いネットワークの構築支援」</b>	<b>25</b>
2-1 取組の概要	25
2-2 各取組の実施状況	26
2-2-1 地域の“見守り”に関する説明会の開催	26
2-2-2 ふれあい見守り推進員の手引き更新	29
2-2-3 既存の協力者に対する情報発信	32
コラム 活動のポイントを紹介する動画	35
2-3 今年度の取組の達成状況と次年度の対応案	36
<b>第3章「ネットワーク運営に関するその他の支援」</b>	<b>37</b>
3-1 取組の概要	37
3-2 各取組の実施状況	38
3-2-1 検討部会の開催	38
3-2-2 事業PRの実施	42
3-2-3 先進事例の検討調査	46
3-3 今年度の取組の達成状況と次年度の対応案	50



# はじめに「本業務の概要」

## 本業務の目的

### (1) 見守り支援ネットワークの基本的な考え方

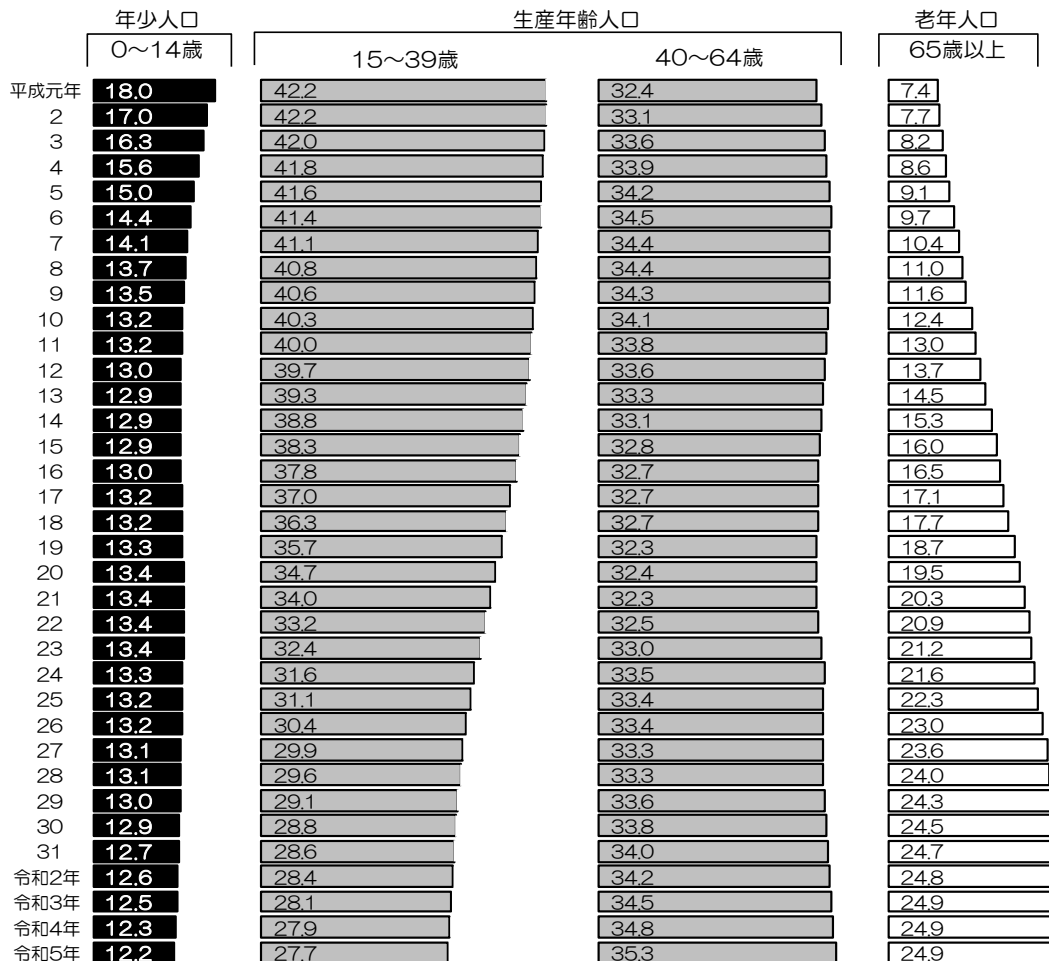
#### 住み慣れた地域で支えあい、安心していきいきと暮らせるまち

日野市の高齢者人口は1人暮らし世帯や高齢者のみ世帯を中心に大きく増加しています(2023(令和5)年1月1日現在46,614人、高齢化率24.9%)。高齢者人口の増加に伴う虚弱や要介護となる恐れのある高齢者の増加、核家族化の進行に伴う家族による介護機能の低下、都市化傾向の進展による近隣コミュニティの結びつきの希薄化などを背景に、孤立死のような不幸な事件も起きています。

高齢者福祉の分野では、特に身近な「地域」で高齢者の生活を支える仕組みづくりが最重要課題となっており、日野市では、こうした社会的にも孤立しがちな高齢者を地域での支えあいを通じ見守り、支援する「高齢者見守り支援ネットワーク」の構築によって「安心していきいきと暮らせるまち」づくりに積極的に取り組んでいます。

### (2) 本報告書の位置付け

本報告書は、上記の目的を達成するために2004(平成16)年度から取り組んできた「日野市高齢者見守り支援ネットワーク事業」の2022(令和4)年度の活動内容をまとめたものです。



※日野市男女別年齢別人口統計、各年1月1日現在のデータを集計

## これまでの取組

高齢者の生活実態を調査し必要な支援内容を整理した上で、できることから少しずつ、地域のボランティアの方々の協力を得ながら活動を広げて来ました。

年度	テーマ	特徴的な取組
H16	○資源・ニーズの把握 ○モデルシステムの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の高齢者を対象とした「ふれあい訪問調査」や事業所を対象とした“連携可能性調査”を実施し、「現在は元気で自立しているが健康面が不安なひとり暮らし高齢者」などの対象となる高齢者像と具体の支援内容を5つのパターンにとりまとめ</li> </ul>
H17	○モデルシステムの試行・評価 ○事業計画づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内4つのモデル地区で19人の対象高齢者、30人のふれあい見守り推進員とともに“見守り”“声かけ”の支援を試行</li> <li>この成果をもとに、「週1回のさりげない見守り」「月1回程度の玄関先での声かけ」の活動を全市へ2カ年で展開する計画を作成</li> </ul>
H18	○地域展開スタート	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度に設定した目標に従って市内各地で順次ネットワークの立ち上げを行い、市内のちょうど半分で活動がスタート</li> <li>立ち上げにあわせて「見守り支援ネットワークフォーラム」を開催したほか、2回目のふれあい訪問調査も実施（以降毎年実施）</li> </ul>
H19	○基本型の全市展開 ○新しい活動の芽生え	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年度から始まったネットワークの立ち上げが完了し“見守り”“声かけ”が遂に全市に広がる</li> <li>活動の中から見えてきた課題に対する新たな展開として「百草ふれあい協議会」による「ふれあいサロン」の開設を準備</li> </ul>
H20	○ネットワークの拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ふれあい交流型」活動を継続的に支援するための要綱を策定</li> <li>や5つのパターンの最後の1つ「お世話・お手伝い型」にあたる「ちょこっとお手伝いサービス」を新たに立ち上げ</li> </ul>
H21	○活動の継続実施 ○新たな活動方針の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象高齢者や見守り推進員の拡充、サロン「よりみちさくら」の新規開設など既存の活動のフォローアップを実施</li> <li>立ち上げ当初の計画がおおむね狙い通りに実施されたことから、課題の解消とさらなる活動の充実を目指して新たな活動方針を検討</li> </ul>
H22	○ネットワークの次なる展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の活動と並行して、平成21年度に検討した新たな活動方針の1つである「気かけ運動」の企画検討に着手</li> <li>見守り支援ネットワークのPRの一環として、高齢者月間にあわせて市役所ホールを会場にパネル展を開催</li> </ul>
H23	○全市展開から丸5年の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年に“見守り”“声かけ”の全市展開を開始してから丸5年が経過したのを記念して、これまでの活動の振り返りや今後の展開を考えるシンポジウムを大々的に開催</li> </ul>
H24	○「気かけ運動」の積極的な展開 ○事業PRの展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>「気かけ運動」の展開にあたって、従来の手あげ方式から、こちら積極的に地域を訪問して「勉強会」を開催する方法を試行</li> <li>「気かけ運動」の展開とあわせて、広報ひのや「市民活動フェア」に参加して、見守り支援ネットワーク全体のPRを積極的に展開</li> </ul>

↑次ページに続く

年度	テーマ	特徴的な取組
H25	○調査方法の改善 ○「気にかける運動」の継続展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークの展開を検討する際の基礎資料の1つとなっていたふれあい訪問調査（はつらつ・あんしん調査）の実施方法を改善</li> <li>・「気にかける運動」の展開を継続しながら、市民活動フェアや「地域かわら版」にて取組のPRを実施</li> </ul>
H26	○「気にかける運動」の一般化と拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「気にかける運動」の狙いや基本的な活動イメージをまとめた「気にかける運動の手引き」等を作成</li> <li>・「手引き」とチラシを用いてより多くの地域への働きかけを実施</li> </ul>
H27	○10周年記念シンポジウムの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル地区での試行から10年が経過することを記念して「見守り支援ネットワーク10周年記念シンポジウム」を開催</li> <li>・シンポジウムでは、協力者の方々の労いとこれからの見守り支援ネットワークを考えるヒントを得るための講演等を実施</li> </ul>
H28	○モデル地域への気にかける運動の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域特性を整理した上で選定したモデル地区において「気にかける運動」の集中展開を実施</li> <li>・見守り支援ネットワークの戦略的な展開や地域からの相談にあたっての検討材料として、高齢化の状況や集会施設の分布、サロン活動等の実施状況を整理</li> </ul>
H29	○気にかける運動を入口にした統合型ネットワークへの転換検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル地区に対する継続的な支援を実施</li> <li>・見守り・声かけの基本的な方法を学び、活動目標を立てる勉強会の開催とそのテキスト「気にかける運動ワークブック」を作成</li> </ul>
H30	○統合型ネットワークへの転換に向けた具体的取組の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働きかけの狙いや対象の明確化 <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 一般市民を対象にした“気にかける”の意識付け 等</li> </ul> </li> <li>・メール配信システム等の新たな仕組みの導入の検討</li> <li>・既存の取組の見直し、改善の開始</li> </ul>
R1 (H31)	○統合型ネットワークの実現に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働きかけの狙いに対応した3ステップに基づく戦略的な事業展開（特に、メール配信システムの導入準備や事業PRチラシの更新、ふれあいサロン体験ツアーなど）</li> <li>・地図を使った課題や対応策の検討（「第2層協議体」を意識したプログラムの実践）</li> </ul>
R2	○メール配信システムの運用開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メール配信システムの導入・運用開始</li> <li>・その他、新型コロナウイルスに対応した活動に対する支援検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 「地域でささえる・つながる」プロジェクト補助金 等</li> </ul> </li> </ul>
R3	○見守り支援ネットワークの再構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り支援ネットワークの位置づけと今後の目標の再定義（“地域の高齢者への支援の入口”を拡大・強化する）</li> <li>・“相手を特定しない見守り”を行うふれあい見守り推進員の登録を強化する方策の検討</li> </ul>
R4	○再構築の方向性を踏まえたネットワークの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の“見守り”に関する説明会の開催</li> <li>・ふれあい見守り推進員の手引きの更新 等</li> </ul>





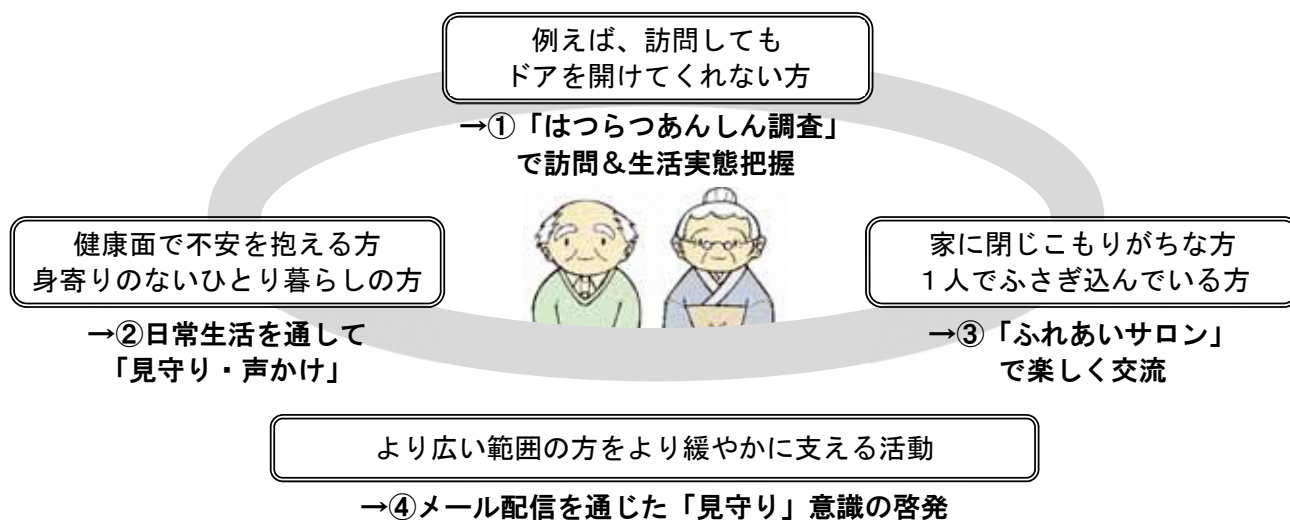
# 第1章「個別の取組の実施支援」

## 1-1 取組の概要

見守り支援ネットワークは、高齢者の生活実態を調査して、心配な高齢者をいくつかのパターンにまとめ、できることから少しずつ活動を広げてきました。現在、実施しているのは以下の①～④の4つの取組です。

第1章では、これらの取組の概要と今年度の実績をまとめます。

### ▼現在実施している取組



※ この他に、体力低下・怪我・風邪などで普段の生活に困っている方に対して、地域でお手伝いや生活支援のサービスを行う団体を支援する「互近助サービスこきんじよちょこすけ」という事業が2022（令和4）年度からスタートしています。

## 1-2 各取組の実施状況

### 1-2-1 はつらつ・あんしん調査

#### (1) 取組の概要

見守り支援ネットワークの主な対象である市内の高齢者に対して、生活の状況や満たすべきニーズを把握するために毎年実施しているのが「はつらつ・あんしん調査」です。本調査は、①高齢者の生活状況を把握し、②高齢者と直接顔をあわせる機会となり地域の中で「誰も知らない」高齢者を減らすことができるため、市の高齢福祉施策・地域福祉力づくりを検討する上で必要不可欠のものとなっています。

第1回目の調査を2004（平成16）年度に実施し、対象者の増加にともなう負担の軽減や類似調査との重複の解消等を目的とした改定を何度か行った後、現在は以下の内容を基本に、調査内容等の改善を適宜実施しながら調査を続けています。

#### ▼調査の概要

項目	内 容
調査対象	以下の全てに該当する方 ①当該年度の4月1日現在、75歳以上のうち奇数年齢の方 ②介護認定を受けていない方、未申請の方 ③特定の施設に入院・入所等していない方 ④生活保護を受給していない方 ⑤介護予防・生活支援総合事業の対象でない方 ※対象年齢は2022（令和4）年度より65歳以上から75歳以上に変更
調査内容	以下の各項目 ①世帯の状況 ②日中の過ごし方 ③現在の健康状態 ④サークル活動等への参加の有無 ⑤日常の移動能力 ⑥日常の交友状況 ⑦携帯電話等の利用状況 ⑧見守り支援ネットワークへの登録希望 ⑨地域を見守るボランティアへの関心 ※⑦は2021（令和3）年度に新たに追加した項目
調査方法	・郵送配布／郵送回収
民生委員の訪問	・郵送による返送が無かった方のお宅を訪問して市への返送を促進
調査結果の提供先	・民生委員 ・地域包括支援センター ・UR都市機構（多摩平の森、高幡台団地の調査結果を提供） ・日野消防署、日野警察署、日野市関係各課（緊急時の対応の必要性がある場合） ・梵まちづくり研究所（調査内容の集計結果を提供）

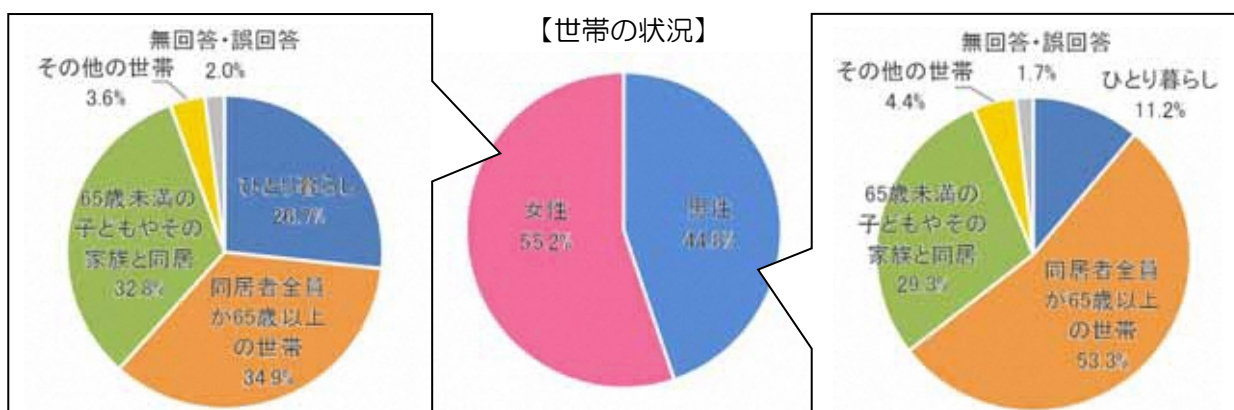
## (2) 取組の実績

- ◇ 送付数、回収数は少しずつ増加しており、今回は 7,839 人という多くの方から回答を得ることができました。回収率は 9 割弱という高い水準を維持しています。
- ◇ 回収率が高いのは、一定期間内に返送がなかった方のお宅を民生委員が訪問し、返送を促進していることが大きな要因になっていると考えられます。
- ◇ 前年度と比較して女性の「ひとり暮らし」が 5 ポイント強増加し、26.7%となっています。ただし、「ひとり暮らし」と「同居者全員が 65 歳以上の世帯」の合計は男女とも 6 割強で、前年度と同水準となっています。
- ◇ 日常の交友状況は、それぞれの項目で前年度よりも 1～3 ポイント程度増加しており、コロナ禍以前の調査結果に近づいている様子が窺えます。
- ◇ 見守りの希望とボランティアの関心はそれぞれ 3.8%、4.4%で、5%を割る結果となりました。これは希望者が多かった前年度よりも 2～4 ポイント低いだけでなく、ここ数年の中でも低い水準となっています。

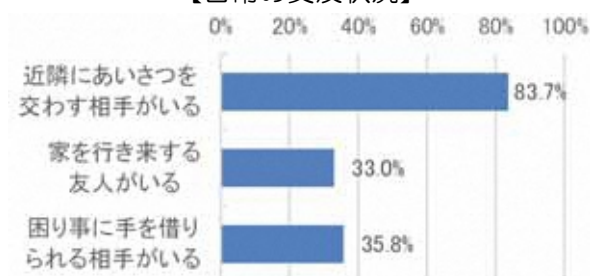
### ▼調査票の配布・回収状況

年度	調査対象（75 歳以上）		【参考】以前の調査対象（65 歳以上）	
	送付数	回収数 (回収率)	送付数	回収数 (回収率)
令和 2 年度調査	8,446 人	7,430 人 (88.0%)	18,356 人	13,432 人 (73.2%)
令和 3 年度調査	8,648 人	7,743 人 (89.5%)	18,725 人	13,540 人 (72.3%)
令和 4 年度調査	8,942 人	7,839 人 (87.7%)	—	—

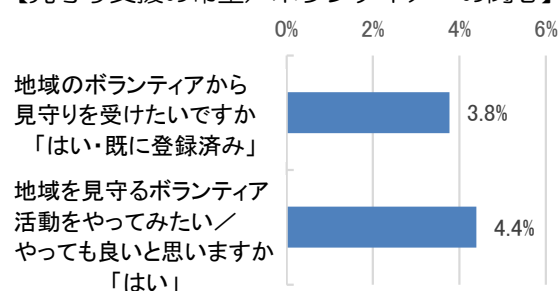
### ▼調査結果の概要



【日常の交友状況】



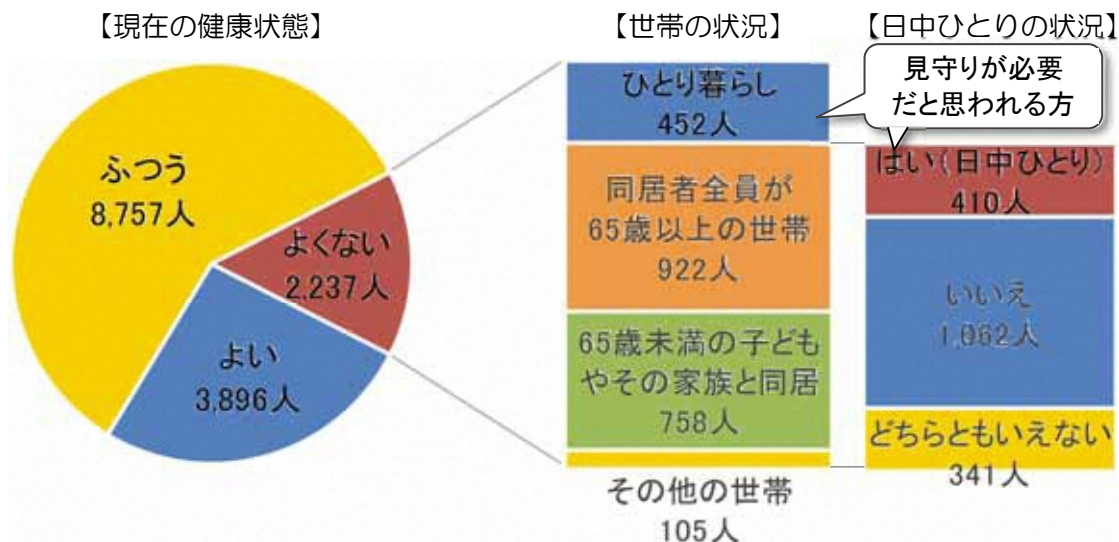
【見守り支援の希望／ボランティアへの関心】



▼調査結果の分析（2021（令和3）・2022（令和4）年度の調査結果より）

◇ 2年に1度、調査結果を分析して施策の検討に役立てています。ここでは、「見守りが必要な方」「交流が必要な方」「お手伝いが必要な方」という3つの視点から分析した結果を掲載します。

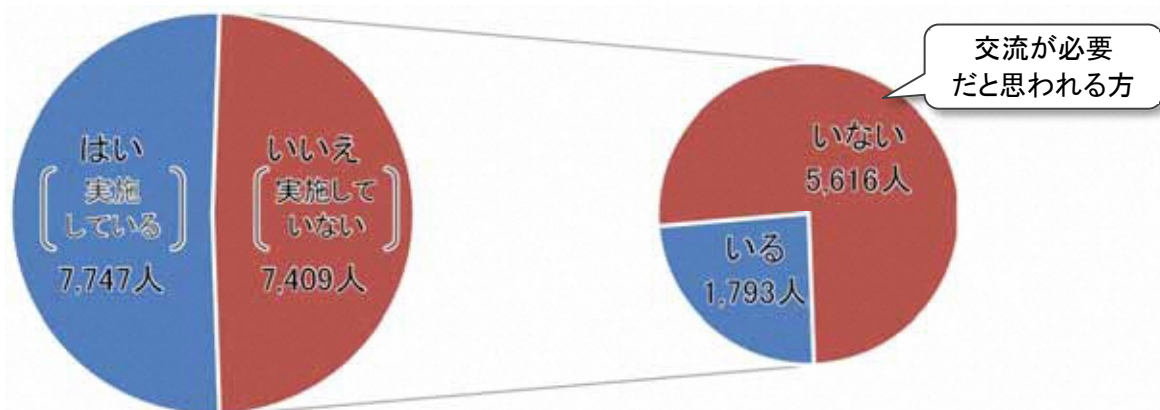
見守りが必要な方の人数の推計 ⇒約0.9千人



交流が必要な方の人数の推計 ⇒約5.6千人

【定期的な運動やサークル活動の実施状況】

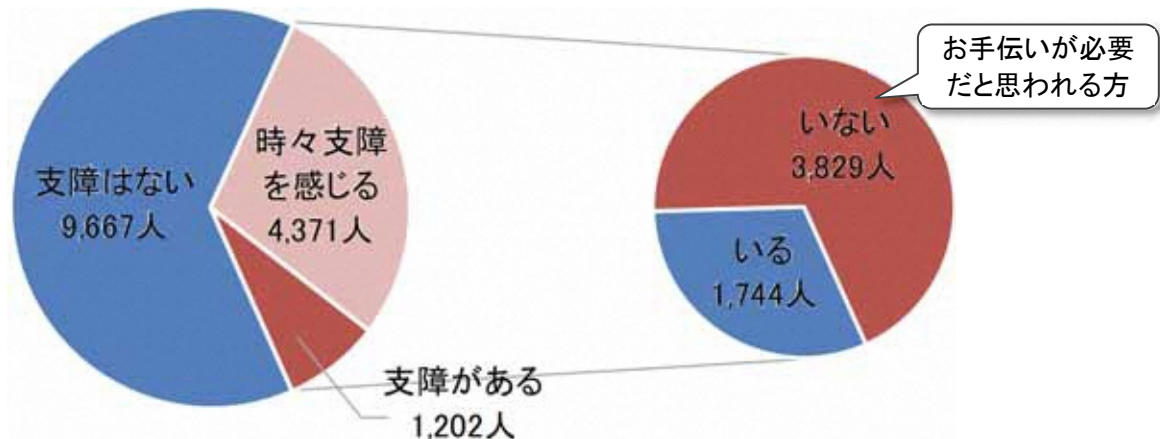
【日常の交友状況\_家を行き来する友人】



お手伝いが必要な方の人数の推計 ⇒約3.8千人

【外出や階段の移動の支障】

【日常の交友状況\_困りごとに手を借りられる相手】



※ 無回答・誤回答を除いて集計

## コラム 次年度のはつらつ・あんしん調査の調査票

はつらつ・あんしん調査は、調査結果をもとに介護予防のご案内をしたり、見守り支援ネットワークへの登録を行ったり、全市的な傾向を把握して施策の検討材料にしたりというように、2004（平成16）年度にスタートして以来多方面で活用されています。しかし、この間に調査項目の一部見直し等を行ってはいるものの、調査票の基本的な構成は20年前とほとんど変わっていません。

今年度の検討部会（3-2-1）では、貴重な大規模調査をさらに有効に活用するために、以下のような点に配慮しながら調査票の見直しを検討しました。2023（令和5）年度からは、この新しい調査票を活用して調査を行う予定です。

- ◇ もう少し詳しい状況を把握できるような質問や選択肢を追加する
- ◇ 質問や選択肢が増えることで回答者の負担が過大にならないようにする

### ▼新しい調査票（質問が掲載されたページを抜粋）

**令和5年度 日野市はつらつ・あんしん調査票**

〒191-8606 日野市神田1-12-1  
日野 高橋 様 ※世帯主  
〒スワマーバーコード

この調査票の送付先に調査対象者がいらっしゃらない場合は、下記の理由に「」をつけてください。  
※ この場合、「3. 無回答」以外の項目を回答いただく必要はありません。

1. 入居・入居中 2. 退居の予定  
3. 転居（市内・市外） 4. その他（ ）

①ご本人様連絡先  
自宅電話番号： - - - 携帯電話番号： - - -

②家族連絡先  
同居しているご家族様の連絡先（同居者がいない場合は不要）  
氏名： 性別： 続柄：  
電話番号： 携帯電話：  
離れて暮らすご家族様の連絡先  
氏名： 性別：  
住所：〒 続柄：  
電話番号： - - - 携帯電話： - - -

③調査票（質問を読んで、該当する回答選択肢に○をつけてください）

問1 現在、あなたと関係している方をすべて選んでください。（該当するものすべてに○）  
1. 配偶者  
2. 親（ご両親の両方を含む）  
3. 子  
4. 孫  
5. その他（ ）  
6. 同居者はいない

問2 日ごと、夜の中でひとりでおこすことが多いですか。  
1. はい  
2. どちらか  
3. どちらもおこさない

問3 あなたの友人や知人の方との交流状況について、お答えください。  
1. 週1回以上、友人や知人の方と会って話をする  
2. 月1回程度、友人や知人の方と会って話をする  
3. 友人や知人の方とほとんど会わないが、連絡は定期的に取る  
4. ほとんど会わない

問4 あなたの携帯電話やパソコンの利用状況についてお答えください。（該当するもの全てに○）  
1. LINE（ライン）はご活用できずやらない  
2. インターネットを使って動画や写真を見る  
3. 携帯電話やパソコンの操作は慣れていない  
4. 携帯電話やパソコンを持っていない

問5 目の病気にについて、聞いていることはありますか？  
※ 詳細では、令和5年度より、高齢者の視覚補助事業を実施します（7月から申請開始予定）  
詳細は、「広報ひの」5月号、7月号またはホームページでご確認ください。  
1. ある  
2. ない

問6 視覚、聴覚のからたや変化のことで、困っていることや不便に感じていることはありますか。  
※ 対応したいことがある場合は、地域包括支援センターまたは居宅支援センターに連絡してください。  
1. 困っていることはない  
2. 困っている、不安なことがある（自宅出入庫（仕度））

問7 かかりつけの病院はありますか。  
1. ある  
2. ない

問8 今後どのような活動やサービスがあるとよいでしょうか。（該当するものすべてに○）  
1. 運動や体験ができる場所  
2. 困ったときに相談できる場所や人  
3. スマートフォンやタブレットの使い方の講座  
4. サロンや集いの場  
5. 買い物支援  
6. 家族や遠方など気軽に質問しあえる場  
7. その他（ ）  
8. 何もない

問9 「高齢者見守り支援ネットワーク」に登録し、地域のボランティアから見守りを受けたいことを希望しますか。  
※ 「高齢者見守り支援ネットワーク」については、3ページをご覧ください。  
1. はい  
2. 今のところ必要ない  
3. 別に要らない  
「はい」は質問したい方は3ページをご覧ください。

問10 見守りを受けるボランティア活動をやりたい/やってもいいと思えますか。  
1. はい  
2. どちらか  
「はい」は質問したい方は3ページをご覧ください。

※ 調査票には郵送のしかたや返却の期日等が記載されています。詳しくは、3ページをご覧ください。

〒 年 月 日 日野市 氏名  
〒 代表者氏名  
〒 関係者

※ 個人情報の取り扱いについては、3ページをご覧ください。

調査票（質問が掲載されたページ）をA4版1ページから見開き2ページに拡大して…

- ✓ 質問や選択肢を増やしました
- ✓ 文字間隔を広げました

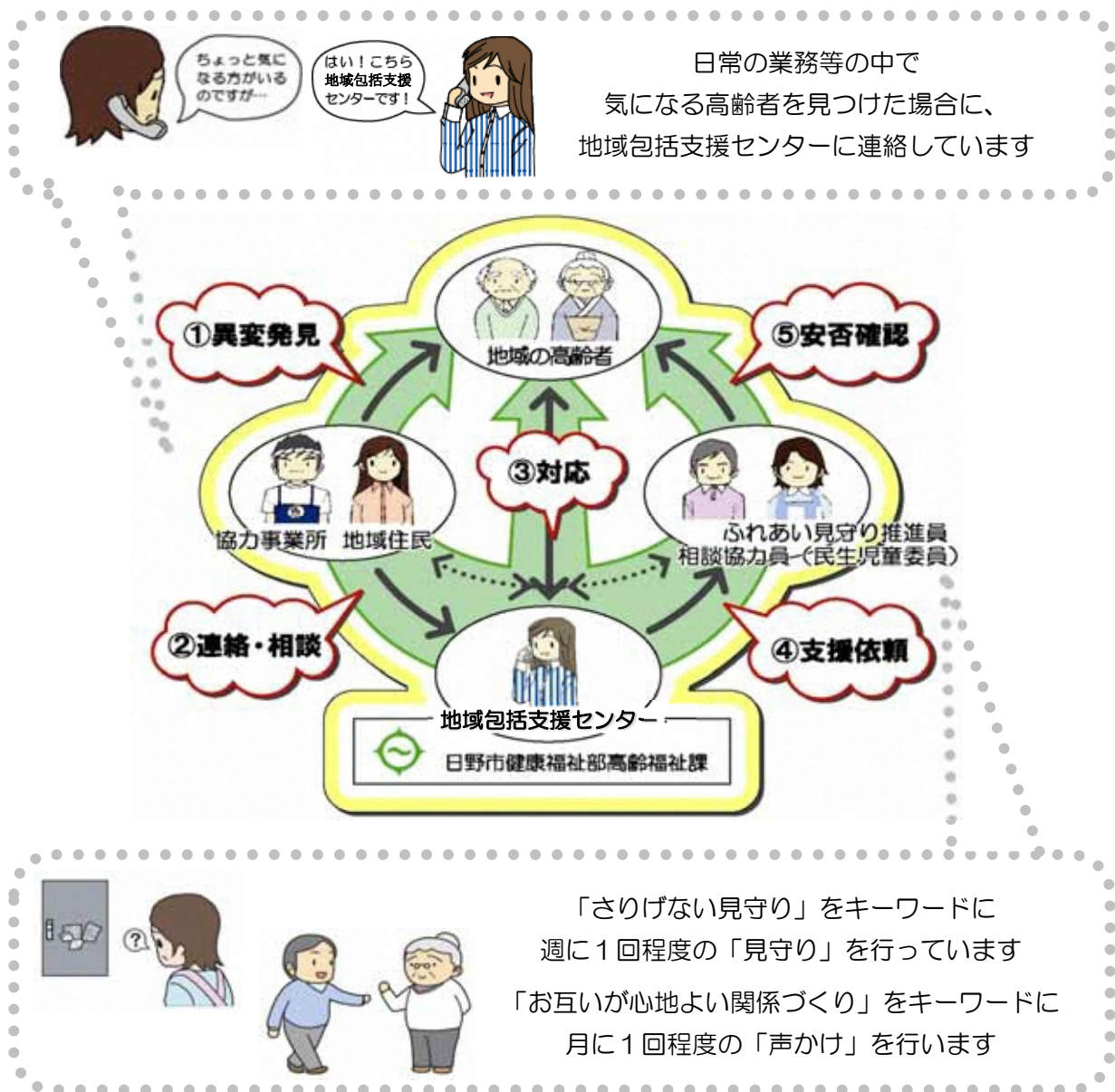
## 1-2-2 「見守り・声かけ」

### (1) 取組の概要

地域の「ふれあい見守り推進員」「協力事業所」を中心に、地域での「見守り」による異変発見から定期的な安否確認の「声かけ」までを繋げる日野市の高齢者見守り支援ネットワークの基本型となる取り組みです。

2005（平成17）年度にモデル地区4地区でスタートしてから15年以上に渡って、協力者の輪を広げながら、地域の高齢者の異変発見や安否確認を行っています。

### ▼取組のイメージ



## (2) 取組の実績

- ◇ 前年度に登録数が増えた対象高齢者と協力事業所は、新規登録が引き続き多くありましたが、今年度はこれを上回る登録廃止があったため、登録数は一昨年度と同水準の65人、463事業所となっています。
- ◇ 近年多数の登録廃止が続いていたふれあい見守り推進員は、登録廃止が少なくなる一方、各地域で新規登録があったため、前年度より15人多い167人となっています。

### ▼対象高齢者の登録状況

	もぐさ	あさかわ	すてっぴ	あいりん	せせらぎ	多摩川苑	いきいき タウン	すすらん	かわきた	合計
R2	8人	15人	5人	9人	10人	3人	4人	6人	2人	62人
R3	8人	19人	8人	13人	9人	3人	4人	4人	4人	72人
R4	10人	18人	3人	13人	8人	2人	3人	5人	3人	65人
増減	+3人 -1人	+4人 -5人	+0人 -5人	+2人 -2人	+0人 -1人	+1人 -2人	+0人 -1人	+1人 -0人	+0人 -1人	+11人 -18人

### ▼ふれあい見守り推進員の登録状況

- ◇ 地域にお住まいの協力者の方々です。地域包括支援センターからの依頼を受けて、高齢者宅の訪問や、挨拶などの声かけを無理のない範囲で行っています。

	もぐさ	あさかわ	すてっぴ	あいりん	せせらぎ	多摩川苑	いきいき タウン	すすらん	かわきた	合計
R2	13人	23人	18人	28人	24人	22人	10人	8人	6人	152人
R3	16人	24人	16人	28人	20人	22人	8人	12人	6人	152人
R4	18人	26人	20人	32人	20人	27人	7人	11人	6人	167人
増減	+2人 -0人	+2人 -0人	+4人 -0人	+4人 -0人	+5人 -5人	+5人 -0人	+0人 -1人	+1人 -2人	+0人 -0人	+23人 -8人

### ▼協力事業所の登録状況

- ◇ 商店、事務所、医療機関等の事業所の方々です。業務を通じて地域の高齢者と接する中で問題や異変を早期した場合に地域包括支援センターへ連絡を行っています。

	もぐさ	あさかわ	すてっぴ	あいりん	せせらぎ	多摩川苑	いきいき タウン	すすらん	かわきた	市外	合計
R2	24所	92所	68所	99所	45所	51所	13所	33所	23所	13所	461所
R3	25所	95所	69所	96所	47所	56所	14所	34所	23所	13所	472所
R4	23所	93所	72所	92所	42所	57所	15所	34所	22所	13所	463所
増減	+1所 -3所	+2所 -4所	+3所 -0所	+0所 -4所	+1所 -6所	+2所 -1所	+1所 -0所	+1所 -1所	+1所 -2所	+0所 -0所	+12所 -21所

### ▼その他の機関との連携状況

日野警察署、日野消防署、日野郵便局、(株)日野環境保全の4機関にも事業開始当初から協力をいただいています。



「巡回中の見守り」  
など



「防火診断のための  
家庭訪問」など



「郵便配達時の  
ポストの確認」など



「ごみ出し確認」「希望者  
への声かけ収集」など

# 1-2-3 ふれあいサロン

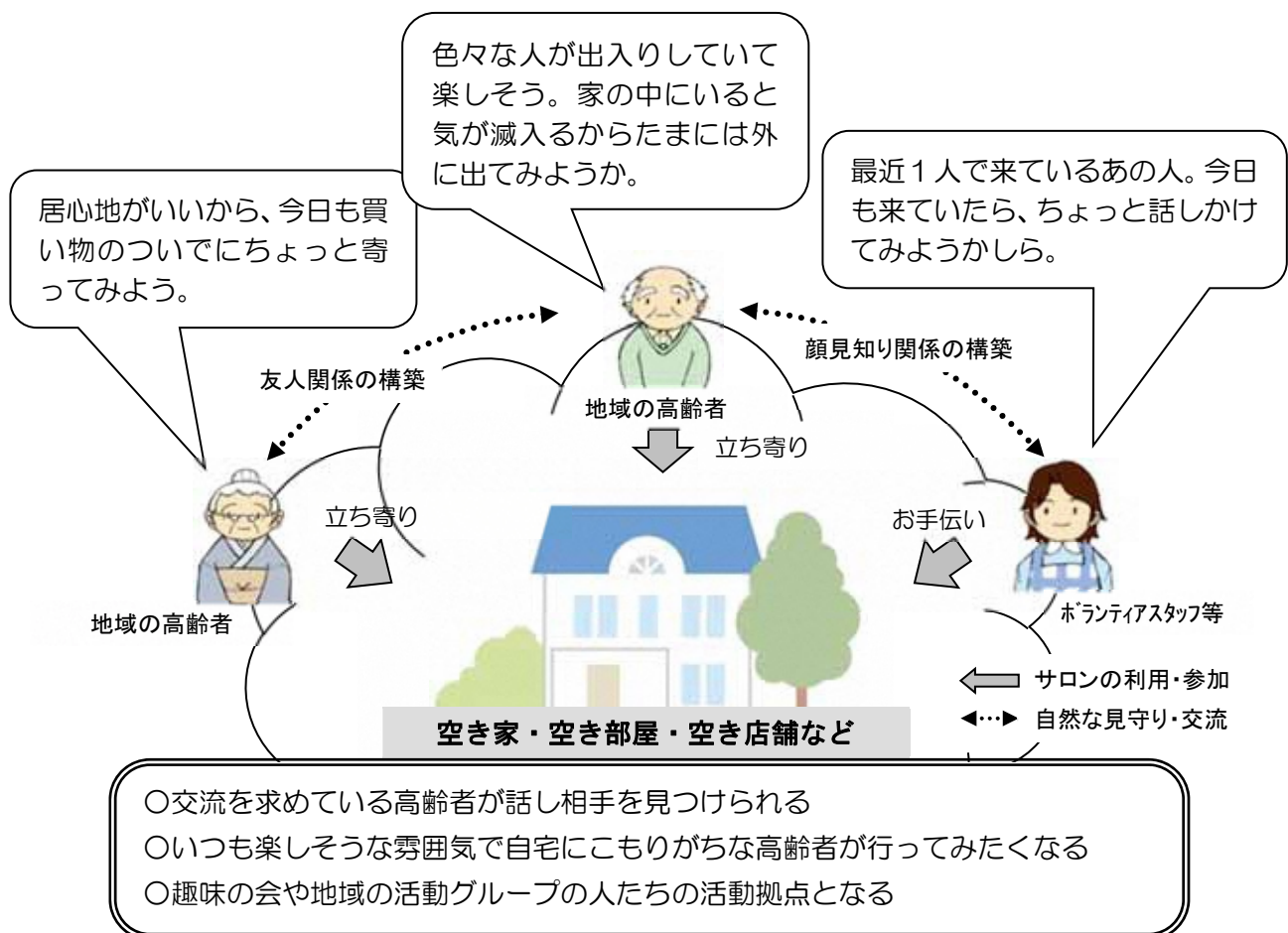
## (1) 取組の概要

「見守り・声かけ」の活動を展開する中で、「登録を拒否する方や自宅に引きこもりがちの方への対応が課題」「地域の高齢者が集まれるような場所をつくってはどうか」といった声が出てきました。

「ふれあい交流型」の取り組みは、このような声に応えるべく、いつでも気軽に立ち寄れる「地域のたまり場」となるような場所をつくって、高齢者を含めた地域の多様な人が集まって交流する中で「自然に見守りができている」状態をつくりあげることを目指しています。

2007(平成19)年度から、交流の拠点となるような“場所”とその運営を担う“人”の両面から立ち上げの支援を開始し、2008(平成20)年4月に第1号の「百草団地ふれあいサロン」が正式オープンを迎えました。2009(平成21)年度からは、「日野市高齢者見守り支援ネットワークふれあい交流型実施要綱」にもとづき、高齢者とのふれあいをテーマにした既存の活動についても補助金の交付などの支援を行っています。

### ▼取組のイメージ

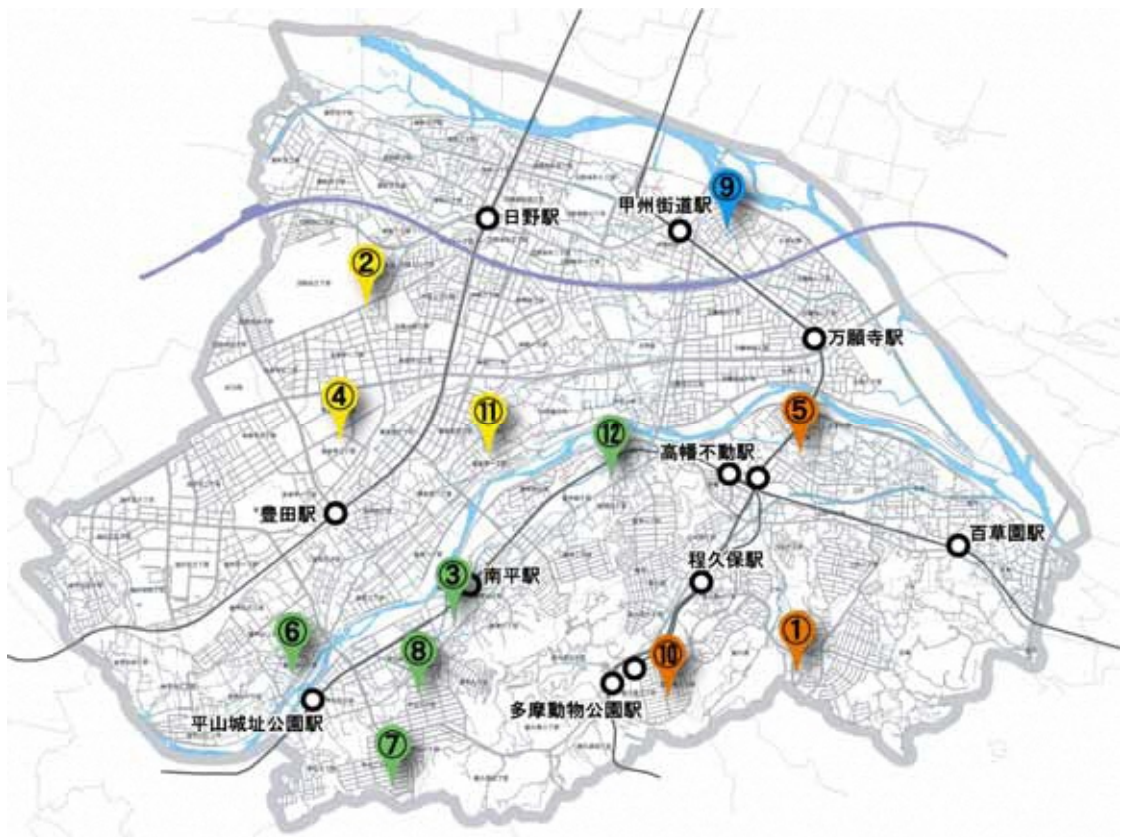




## (2) 取組の実績

- ◇ 「この街八坂サロン(⑫)」がオープンし、市内のサロンが 12 箇所が増えました。
- ◇ 新型コロナウイルスの感染対策や来訪者のワクチン接種が進み、コロナ禍で休止したり、活動を減らしたりしていたサロンも活動を再開しています。
- ◇ 12 サロン合計の来訪者数はのべ 2 万人弱となっており、地域の貴重な交流の場として機能しています。
- ◇ オープン日数は、新設の「この街八坂サロン(⑫)」を除く全てのサロンで前年度より増加しており、「百草団地ふれあいサロン①」「楽しいサロン⑥」「ふれあいサロン万願荘(⑨)」「お茶にこんね(⑩)」を除く 7 サロンではコロナ以前と概ね同水準まで回復しています。
- ◇ 1 日あたりの来訪者数は、ほとんどのサロンで回復傾向にあるものの、まだ半数超にあたる 7 サロンでは最盛期の半分程度に留まっている状況です。
- ◇ 11 月には、コロナ禍での各サロンの活動状況について情報交換を行い、感染対策と楽しい場づくりの両立やより多くの来訪者を迎えるヒントを得るサロン交流会を開催しました。

### ▼ふれあいサロンの位置



※丸番号はふれあいサロンとして支援を開始した順番を表す

▼ふれあい交流拠点の活動状況

◇ 週4日以上オープンなど高齢者の集まりやすさに対する配慮を求める。主に新規に高齢者の居場所づくりに取り組む場合を想定。

	百草団地ふれあいサロン ① (2008年4月開設)	よりみちさくら ④ (2009年6月開設)	南平ふれあいサロン ③ (2001年11月開設) (2008年度より支援開始) (2011年7月リニューアル)
場所	百草 999 百草団地 281号棟 116番	多摩平 2-6-1 多摩平の森さくら集会所内	南平 7-16-14
体制	活動頻度：週 4～5日 常駐スタッフ人数：2～3人	活動頻度：週 5～6日 常駐スタッフ人数：2人	活動頻度：週 4日 常駐スタッフ人数：1～2人
実績	オープン日：203日 来訪者：のべ 4,761人	オープン日：164日 来訪者：のべ 1,710人	オープン日：179日 来訪者：のべ 1,626人
			

	平山ふれあいサロンひだまり ⑦ (2016年4月開設)	平山ふれあいサロンルレイユ ⑧ (2016年7月開設)	明星地区つながりの家 アムール ⑩ (2018年4月開設)
場所	平山 2-7-1	平山 3-12-1	程久保 2-6-14
体制	活動頻度：週 4日 常駐スタッフ人数：4人	活動頻度：週 4日 常駐スタッフ人数：2人	活動頻度：週 4日 常駐スタッフ人数：1～2人
実績	オープン日：184日 来訪者：のべ 2,560人	オープン日：187日 来訪者：のべ 2,969人	オープン日：約 180日 来訪者：のべ 1,500人
			

※ 各サロンの丸番号は支援開始の順番を表す（13ページの図と対応）

支援開始の時期はサロン名称の下に「支援開始」または「開設」年月を記載する

### ▼ふれあい交流活動の活動状況

◇ ふれあい交流拠点の基準には満たないが、自主的な運営により高齢者の交流の場として機能しているような既存の活動を想定。

	談話室ひなたぼっこ (②) (2007年4月移転) (2008年度より支援開始)	南新井ふれあいサロン (⑤) (2010年7月開設)	楽しいサロン (⑥) (2012年1月開設) (2013年度より支援開始)
場所	大坂上 4-20-18 1階	新井 650-2	東平山 1-7-9 平山住宅 9号棟 1階
体制	活動頻度：週3～4日 常駐スタッフ人数：2～3人	活動頻度：週3日 常駐スタッフ人数：2人	活動頻度：週1日 常駐スタッフ人数：3～4人
実績	オープン日：152日 来訪者：のべ1,255人	オープン日：147日 来訪者：のべ1,654人	オープン日：22日 来訪者：のべ394人
			

	ふれあいサロン万願荘 (⑨) (2017年6月開設)	お茶にこんね (⑩) (2017年7月開設)	この街八坂サロン (⑫) (2022年4月開設)
場所	日野 844-7 万願荘地区センター	東豊田 1-29-4	南平 4-8-6 南平地区センター
体制	活動頻度：週1日 常駐スタッフ人数：2人	活動頻度：週1日 常駐スタッフ人数：3～4人	活動頻度：週2日 常駐スタッフ人数：4～5人
実績	オープン日：19日 来訪者：のべ284人	オープン日：24日 来訪者：のべ259人	オープン日：59日 来訪者：のべ700人
			

※ 各サロンの丸番号は支援開始の順番を表す（13ページの図と対応）

支援開始の時期はサロン名称の下に「支援開始」または「開設」年月を記載する

## ▼ふれあいサロン交流会

- ◇ ふれあいサロン（高齢福祉課事業）とミニミニサロン（社会福祉協議会事業）という市内でともにサロン活動を行う団体が集まる合同の交流会を開催しました。
- ◇ 当日は、メイン会場である中央福祉センターと平山ふれあいサロンひだまりを中継でつなぎ、実際のサロン活動の様子を見学する時間を設けました。
- ◇ その後、「思い出ノート」を体験して話をしやすい関係をつくったら、コロナ禍で各サロンが取り組んでいることや困っていること等を話し合いました。
- ◇ ふれあい見守り推進員の活動や「地域の“見守り”に関する説明会」（2-2-1）の開催案内も行いました。

開催日時	11月8日（火）13：30-15：30
開催場所	中央福祉センター集会室 平山ふれあいサロンひだまり（中継）
参加者	<ふれあいサロン・ミニミニ関係者>：20名 <事務局>：日野市高齢福祉課、日野市社会福祉協議会、委託事業者
プログラム	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日野市より</li> <li>2. オンラインサロン見学会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催中のサロン（ひだまり）を見学・話を聞く</li> </ul> </li> <li>3. 思い出ノート体験</li> <li>4. 情報提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でのサロンの取組・工夫していること等を話し合い</li> </ul> </li> <li>5. 日野市高齢福祉課よりお知らせ <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り推進員について</li> </ul> </li> <li>6. 日野市社会福祉協議会からのお知らせ <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイル予防リーダーの紹介</li> <li>・助成金について</li> </ul> </li> </ol>



## コラム コロナ対策 ～CO<sub>2</sub>測定器の活用

コロナ禍でも交流したいという声に応えるために、ふれあいサロンは各種感染対策を実施ながらサロン活動を行っています。

今年度は、「コロナ禍の夏場にサロンを開けるのは初めて」というサロンもあったため、暑い時期に適切に換気を行う手助けとなるCO<sub>2</sub>測定器を提供しました。

各サロンでは、このCO<sub>2</sub>測定器を活用して「どのくらいの人数が室内にいる時にはどの窓をどのくらいの頻度で開ければ良いか」を確認しながら地域の高齢者を迎えています。

### ▼サロンに提供した CO<sub>2</sub> 測定器



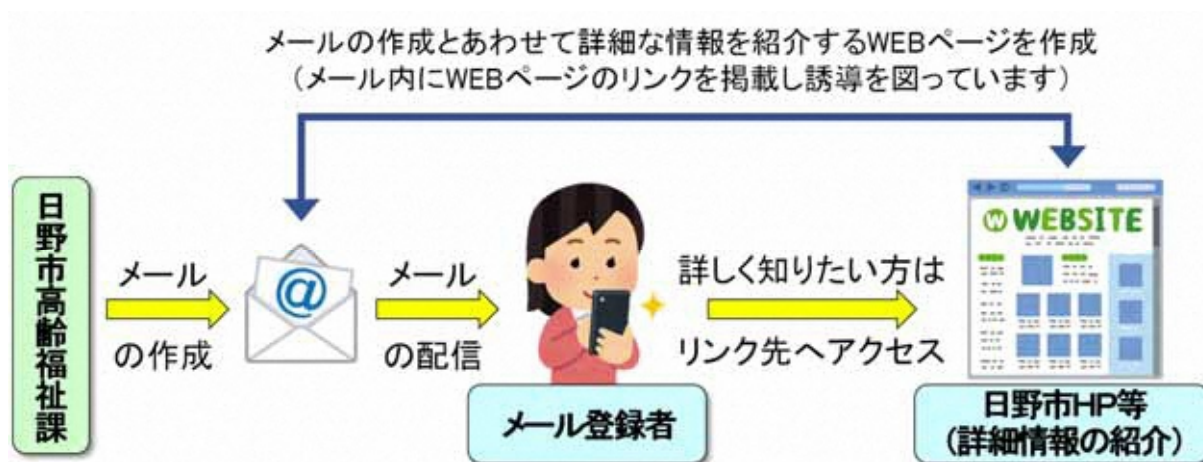
## 1-2-4 見守りメール配信

### (1) 取組の概要

認知症の高齢者が行方不明になった際に、この方の情報をeメールで発信して早期の発見・保護につなげる「行方不明者情報メール配信サービス」の登録者に対して、見守りのコツ等の情報発信を行っています。「ふれあい見守り推進員」等よりも簡単に登録ができる仕組みを通じて、地域の見守りに関する意識啓発を行うことが狙いです。

実際のメールの配信は2020（令和2）年度から始まっています。

### ▼「メール配信」のイメージ



※メール配信には、日野市行方不明者情報メール配信サービスと同一のシステムを活用しているため、メール登録者には見守り関連情報の他に、行方不明者情報も届きます（どちらかの内容の受取を拒否している方を除く）

## (2) 取組の実績

見守りのコツ等をもっと詳しく、かつ分かりやすく紹介するため、伝えたい内容を1分程度の動画にまとめ、これを配信するメールの中で紹介するという取組を進めています。

メール配信では、この他にも地域の“見守り”に関する説明会(2-2-1参照)の開催案内等も行っています。

### ▼作成した動画と配信計画

状況	テーマ	内容
前年度作成 2022年5月 配信	地域の高齢者を見守るポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所で見かける方を見守る方法の紹介</li> <li>・外で会わない方を見守る方法の紹介</li> <li>・集合住宅などで見守りを行う方法の紹介</li> <li>・外から様子を確認しづらい場合の方法紹介</li> </ul>
前年度作成 今後配信予定	あれっと思うことがあった場合の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な対応(何かあったら包括へ)の紹介</li> <li>・こんな時は119番へ</li> <li>・外出先では近くの店員さん等へ</li> </ul>
	心配な方を見つけた場合に声をかける方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なやり方の紹介</li> <li>・面識がない相手へのやり方の紹介</li> <li>・声をかける勇気がない方向けのやり方の紹介</li> </ul>
今年度作成 今後配信予定	行方不明者を見つける手がかかり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症による徘徊の可能性のある4つのケースの紹介</li> </ul>
	地域の高齢者を見守る仲間協力事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力事業所の概要の紹介</li> <li>・銀行や美容院からの活動例の紹介</li> <li>・お弁当屋、新聞屋等の活動例の紹介</li> </ul>
	高齢者の詐欺被害を防ぐ見守りのポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日野市内の特殊詐欺の発生状況の紹介</li> <li>・オレオレ詐欺の被害を防ぐポイントの紹介</li> <li>・還付金詐欺の被害を防ぐポイントの紹介</li> </ul>
	健康長寿の秘訣“フレイル”予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイルの概要の紹介</li> <li>・フレイルの原因の紹介</li> <li>・フレイルの予防と対策の紹介</li> </ul>

## ▼見守りメール配信 5月25日号の概要

配信時期	2022年5月25日
内 容	特集「見守りワンポイントアドバイス①」 ・地域の高齢者を見守るポイント

## ▼見守りメール配信 5月25日号の内容（左：HTML形式、右：テキスト形式）


**【見守り関連情報】2022.5.25号**  
～見守りワンポイントアドバイス①～

### 何を意識して見守りをすれば良いですか？

見守り活動の基本は、「あれっ」「何かおかしい」といった違和感を覚えたら連絡することです。会って話をすればいつもと様子が違うことに気がしやすいものですが、それほど親しくない間柄の方でも、こんなやり方で見守ることができます。

### ▼地域の高齢者を見守るポイント (画像をクリックすると動画が再生されます)

**①近所で見かける方の場合**



このような視点から高齢者の困りごとや体調変化の兆しをできるだけ早く見つけて、深刻な問題が発生するのを未然に防ぐことが重要です。連絡先となる「地域包括支援センター」の詳細は[こちら](#)をご覧ください。

- ★他にアドバイスが欲しいテーマがありましたらこちらまで（メール配信に関するご意見ご感想もお寄せください）  
⇒[こちら](#)（WEBフォームが開きます）
- ★高齢福祉課では見守り活動の担い手を募集しています  
⇒[高齢者見守り支援ネットワークのご案内（日野市公式HP）](#)

日野市役所 健康福祉部 高齢福祉課  
在宅サービス係 見守り支援ネットワーク事業担当  
TEL：042-514-8496 Mail：kourei\_zaitaku@city.hino.lg.jp

★本メールの配信停止は[こちら](#)から

**【見守り関連情報】2022.5.25号**  
～見守りワンポイントアドバイス①～

＝地域の高齢者を見守るポイント＝

- ★会って話をする相手の場合は…
  - ・同じ話を繰り返す／話がかみ合わない  
／急に挨拶をしてくれなくなった等
- ★道で見かける程度の相手の場合は…
  - ・髪や服が汚い／季節にあわない服装  
／足下がおぼつかない／痩せてきた等
  - ・最近見かけない／会わなくなった
- ★外で顔をあわせない相手の場合は…
  - ・電気・雨戸・洗濯物が〇〇のまま
  - ・新聞や郵便がポストに溜まっている
  - ・家の周りや庭木が荒れてきた

高齢者の困りごとや体調変化の“兆し”を見つけて、深刻な問題が発生するのを“未然に防ぐ”ことが狙いです。以下の動画もあわせてご覧ください。

⇒  
<https://www.youtube.com/watch?v=RaARt3pr0c8>

＝お知らせ等＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

- ★見守り活動の担い手を募集しています（見守り支援ネットワークのご案内）  
⇒<https://www.city.hino.lg.jp/fukushi/kourei/torikumi/1003577.html>
- ★他にアドバイスが欲しいテーマがある方はこちらまで（ご意見ご感想も募集中）  
⇒ WEB フォーム：  
<https://forms.gle/itpzadFEt7N1Sxlz6>  
⇒FAX：042-583-4198

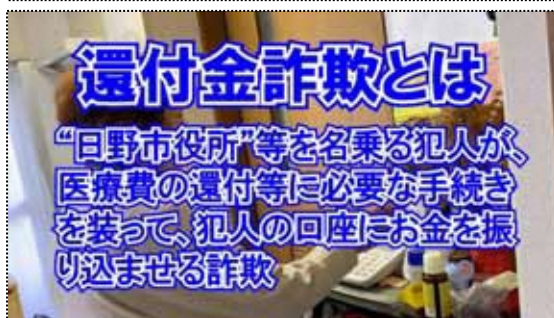
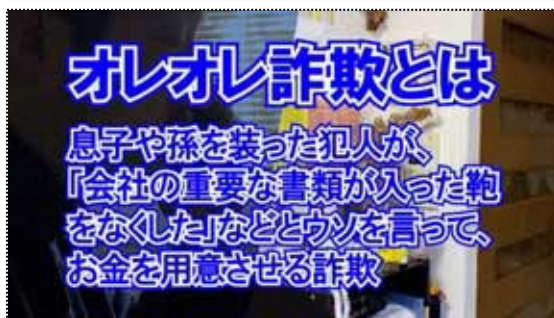
\*\*\*\*\*  
日野市役所 健康福祉部 高齢福祉課  
在宅サービス係  
\*\*\*\*\*

★見守り関連情報の配信停止はこちら  
⇒<https://onl.tw/vUvGAN6>



▼「高齢者の詐欺被害を防ぐ見守りのポイント」を紹介する動画のイメージ

◇ この動画では、日野警察署及びエキストラとして出演していただいた市民の方の協力を得て、実写版の動画作成にチャレンジしました。



## 1-3 今年度の取組の達成状況と次年度の対応案

1-2-1から1-2-4の取組毎に今年度の成果と課題、今後の対応案を以下の通り整理しました。

### ▼はつらつ・あんしん調査の成果・課題・対応案

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8,942 人の対象者に調査票を配布して、7,839 人という多くの方から回答を得ることができました。回収率は9割弱という高い水準を維持しており、市内の高齢者の生活実態を把握する有効な方法となっています。</li> <li>・貴重な大規模調査をさらに有効に活用するために調査票の見直しも実施しました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染を予防する観点から未返送者宅を訪問する際に顔をあわせることができなくなっていることについて、担当する民生委員から「地域の状況を把握する機会が失われている」という声が前年度と同様に上がっています。</li> <li>・調査票の見直しの次のステップとして、新しい調査票の運用に向けた事前の準備や事後の影響評価について検討する必要があります。</li> </ul>
対応案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度調査の実施にあたっては、新しい調査票の運用方法や未返送者への対応方法などについて混乱が生じないよう対応を検討します。</li> <li>・新しい調査票の回収率や回答の傾向などを確認し、検討部会（年度後半）の中で改善方策を検討します。</li> <li>・また、見直し前の調査の実績について、過去20年の内容のとりまとめを行うことも検討します。</li> </ul>

### ▼「見守り・声かけ」の成果・課題・対応案

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい見守り推進員の登録者が大幅に増加しました。</li> <li>・これは、地域の“見守り”に関する説明会（2-2-1 参照）をはじめ、新規協力者を獲得するための取組を進めたことが要因と考えられます。</li> <li>・手引きの更新や見守りのコツ等をまとめた動画の作成など、既存の協力者に対して働きかけを行うためのツールの拡充も行いました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度には増加していた対象高齢者と協力事業所の登録数が再び減少しています。各地域で新規の登録がありますが、これを上回る登録廃止が発生している状況です。</li> <li>・はつらつ・あんしん調査では、見守り希望、ボランティア希望ともに希望する人の割合が減少しています。</li> </ul>
対応案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はつらつ・あんしん調査等にあわせて見守り支援ネットワークの意義やメリットについてPRを図ります。</li> <li>・また、対象高齢者の登録を必要としない「対象を特定しない見守り」を拡充するため、以下のような取組を推進します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>－新しいふれあい見守り推進員を獲得するための取組</li> <li>－既存の協力者が活動を再開・継続するための働きかけ</li> </ul> </li> <li>・これらの取組に協力する内容として、メール配信（1-2-4）等による情報発信の強化・改善を図ります。</li> </ul>

### ▼ふれあいサロンの成果・課題・対応案

<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内 12 箇所目となる新しいサロンが誕生しました。</li> <li>・コロナ禍で休止したり、活動を減らしたりしていたサロンが全て活動を再開し、地域の貴重な交流の場となりました。</li> <li>・年度の途中から活動を再開した一部のサロンを除き、オープン日数は概ねコロナ以前と同水準まで回復しました。</li> <li>・毎年開催しているサロン交流会では、社会福祉協議会の支援を受けて活動している他のサロンの方々も交えて、コロナ禍での各サロンの活動状況について情報交換を行いました。</li> <li>・コロナ禍の活動を支援するためにサロンへ提供した CO<sub>2</sub> 測定器については、「安心して活動する支えになった」という声がありました。</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだふれあいサロンがない地域にもふれあい交流の必要性が高い場所があります。</li> <li>・1日あたりの来訪者数は前年度より増加しているものの、コロナ以前と比べるとやや少なくなっており、まだ半数超にあたる 7 サロンでは最盛期の半数程度に留まっています。</li> <li>・また、活動を再開しているとは言っても、コロナ以前に実施していた全ての催しを再開できている訳ではなく、コロナ禍での活動に対する疑問や不安を抱えながらの活動が続いています。</li> </ul>
<p>対応案</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「サロンを始めたい」という声やふれあい交流のニーズ等に対応して、新しいふれあいサロンの開設に向けた支援を継続して行います。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが 5 類へ移行するのにあわせて、以下のような支援を行います。             <ul style="list-style-type: none"> <li>－地域へのお知らせ（来訪の呼びかけ用チラシ等）のひな型作成</li> <li>－不要な感染対策の確認 など</li> </ul> </li> </ul>

### ▼見守りメール配信の成果・課題・対応案

<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画を使った見守りのコツ等に関する情報提供を開始することができました。</li> <li>・他にも、検討部会（2-2-1）の中でどのような情報提供ができるかを検討し、見守り活動に役立つ情報や高齢者に関する注意事項を取り上げた動画を作成し、メール配信の準備を進めました。</li> <li>・特に、「高齢者の詐欺被害を防ぐ見守りのポイント」を紹介する動画では、インタビュー映像等を使って動画をつくるという新しい取組を行いました。</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテンツ（動画）の作成が作業の中心となり、メールの配信を計画的に実施することができませんでした。</li> <li>・配信数が少なかったことで、メール配信システムの登録者の反応を十分に確認することができませんでした。</li> </ul>
<p>対応案</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作り溜めた動画やチラシ等を活用して市民に対する定期的な情報発信に努めます。</li> <li>・ニューズレターもコンテンツの 1 つだと捉えて、より多くの市民に情報を届けるツールである「メール配信」を中心に、効率的に市民の意識啓発と見守り事業の PR を行う体制の再構築を検討します。</li> </ul>



# 第2章「より良いネットワークの構築支援」

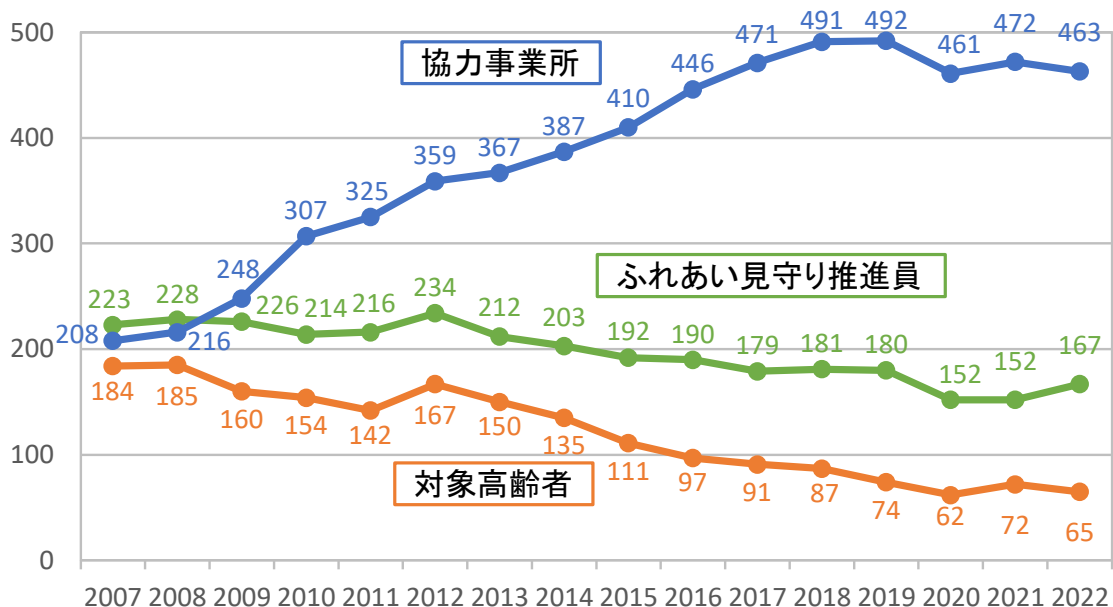
## 2-1 取組の概要

見守り支援ネットワークでは、前章で報告した各取組の実行・改善や、2010（平成22）年度より企画検討をはじめた“気かけ”運動のさらなる周知・普及、見守り支援ネットワーク全体に関する市民啓発など、地域の中で高齢者を見守り、支える仕組みや体制づくりに取り組んできました。

近年は、対象高齢者やふれあい見守り推進員等の協力者の減少が続いていることから、メール配信（1-2-4）等の新しい取組を通じて事業の改善を図っています。この一環として、2021（令和3）年度には、「見守り支援ネットワークの再構築」というテーマで活動内容の見直しを進め、『“相手を特定しない見守り”を行うふれあい見守り推進員の登録を強化する』という方向性を確認しました。

2022（令和4）年度は、前年度に確認したこの新しい方向性について、既存の協力者と新規の協力者候補の双方に積極的にPRを行い、活動のテコ入れを図りました。

### ▼登録数の推移【参考】



## 2-2 各取組の実施状況

### 2-2-1 地域の“見守り”に関する説明会の開催

#### (1) 取組の概要

「見守り支援ネットワーク」の活動をさらに広げるために、「ご近所の様子が気になる方」や「気軽にできるボランティアを探している方」をターゲットに、以下のような内容を目指して“見守り”の活動を紹介する「説明会」を開催しました。

- ◇ 地域の高齢化や見守りに関心のある方に、実際に活動している方（推進員ないし民生委員）の話を聞いて「これならできそう」「登録してみよう」と思ってもらおう
- ◇ 既に何かしらやっているような方には、自分の活動に参考になるような役立つ情報・実践的な情報を提供する

開催にあたっては、市民に広く参加を呼びかけるため、市報や見守りメール配信（1-2-4）に案内を掲載したほか、地域包括支援センターを通じてチラシの配布も行っています。

#### ▼実施内容

項目	内 容		
名 称	地域の“見守り”に関する説明会		
開催日時	11月21日(月)14～15時半	11月24日(木)14～15時半	
開催場所	福祉支援センター 第一会議室	日野市役所 505 会議室	
出席者	【市 民】12名 【説明者】3名（ふれあい見守り推進員） 【包 括】4名 【事務局】6名	【市 民】11名 【説明者】3名（ふれあい見守り推進員） 【包 括】4名 【事務局】6名	
プログラ ム	① 概要説明 まず日野市から“見守り”のポイントやお勧めのやり方、困った時の相談窓口等を紹介しました 	② 活動紹介 実際に“見守り”を行っている方からどんな活動をしているか話を聞きました 	③ グループトーク 活動の紹介者、地域包括支援センターの職員を囲んで、テーブル毎にさらに詳しく話を聞く時間を設けました 

## (2) 取組の実績

説明会では、「概要説明」「活動紹介」「グループトーク」の3部構成で情報提供を行い、参加者からは以下のような良好な反応を得ることができました。

この結果、全参加者の約半数にあたる10名の方にふれあい見守り推進員に新規登録していただくことができました。

### ▼参加者の反応

#### >見守りの必要性が理解できた／課題が見つかった

- 高齢の方が年々増えているので見守りの必要性を感じた。
- 高齢化が進みお互いに見守るのが当然と思っています。
- 見守りも色々課題があるように思いました。高齢化問題。
- 色々な活動の中でさらに課題等が見つかりました。
- ウェルビーイングな日野市であって欲しいから、自ら何ができるのか(を考えたい)？

#### >特に推進員の話が良かった

- 現場のお話が聞けて良かった。
- 推進員の話が興味深く参考になった。
- 活動されている方のお話を聞くことができ有意義でした。
- 推進員の方はすごくがんばっておられると感心しました。
- 将来が明るくなる活動を実践されていることを知り、心強い。

#### >今後はこんなことができると良い

- 地域で守る！！
- こういった活動をもっと知ってもらい、見守り推進員が増えていくとよいと思いました!!
- 市民の協力をどうやって得るかも大きな課題だと思った。
- 活動者の声、情報を共有したい。他イベントと連携できると良い？

▼主な説明内容（概要説明で使用したスライドの抜粋）

### はじめに

□何人くらいいらっしゃると思いますか？

- 市内の65歳以上の人口は約4.7万人（令和4年1月1日現在）
- このうち介護保険サービスを受けている方は約1万人

日野市全体 約4.7万人(46,658人)

介護サービス対象 約1万人(9,748人)

このうち見守りが必要な方は…（次頁参照）

20

### 日野市の高齢化の現状

□はつらつ・あんしん調査

- 市内の高齢者を対象に、生活の状況や満たすべきニーズを把握するために毎年実施しているアンケート調査です

この調査をもとに「見守りが必要な人数」を試算すると…

健康状態が「良くない」かつ 家を行き来する友人が「いない」方 **2,832人**

健康状態が「良くない」かつ 近隣にあいさつを交わす相手が「いない」方 **759人**

30

### 日野市の高齢化の現状

□見守りが必要な方の分布（参考）

- 健康状態が良くないかつ
- 家を行き来する相手がいない方の分布

3-11人  
12-17人  
18-22人  
24-28人  
29-34人  
35-42人  
43-54人

40

### 地域の「見守り」のイメージ

□こんなやり方をしている方がいます

犬の散歩のついでに、ご近所をまわっています

買物に出た時に寄り道しながら、近所をまわっています

近所まで出るのに、少し遠回りして、先になるおちのちをまわります

訪問する必要がある高齢者は、来ていただきありがとうございます

近所を回る際に近所の方の様子を確認しています

□ポイントをまとめた動画も作成しています▶

地域の活動者を見守るポイント

何か役に立った時の連絡の仕方

心配な方に声をかける方法

50

### 日野市の取組「高齢者見守り支援ネットワーク」

高齢者の困りごとや体調の変化等を早期に発見し、各種の相談や支援サービスに素早くつなげることで、深刻な問題が発生するのを未然に防ぐ仕組みです

50

### 日野市の取組「高齢者見守り支援ネットワーク」

□「ふれあい見守り推進員」協力事業所

- 高齢者の様子の変化を見つけるアンテナ役として、普段の生活の中で周りの方をそれとなく見守るボランティアの登録を進めています

地域で助けあえる見守る「ふれあい見守り推進員」約150人

事業を通じて地域の高齢者を見守る「協力事業所」約470事業所

「ふれあい見守り推進員」に登録すると…

- 地域包括支援センターとつながることで、ご近所のことやご自身やご家族のことも気軽に相談しやすくなります！
- 「登録証」や「胸章」など活動に役立つグッズをお渡しします！
- 見守り活動に役立つ情報をお知らせするメール配信サービスや、LINE(ライン)アカウントをご紹介します！ などなど

60

### 日野市の取組「高齢者見守り支援ネットワーク」

□「地域の見守り」のなかめ「地域包括支援センター」

- 高齢者の皆さまが住み慣れた地域で安心して生活していただくための総合相談窓口です
- 地域からの連絡・相談を受けて支援の調整を行う「地域の見守り」の要の機関です（「ふれあい見守り推進員」の登録も行います）

「何かあったら包括」と覚えてください！

地域づくり 権利保護  
総合相談 認知症高齢者支援 健康・介護予防

介護・福祉・保険の専門職がチームとなって地域で高齢者を支援します

60

### 日野市の取組「高齢者見守り支援ネットワーク」

□お住まいの地域を担当する包括のご確認を！

名称	連絡先	担当	担当地域
もくさ	599-0536	高11770	西条 高11 野本区(1-7) 日野南1区 高127日 北野1299-1294(東条*)
あさかわ	593-1919	東条017 5	東条 2211 * 6800 2211, 5-17日 入道野 野 野 野 野 野 野 野 野
すてつづ	582-7367	東条31-8	東条 31-8
あいりん	586-9141	東条野6-21-7	東条野6-21日 野野野 野 野 野 野 野 野 野 野
せせらぎ	589-3560	東条野6-3-17	野野野 野 野 野 野 野 野 野 野
多摩川島	582-1707	野野野 11-1	野野野 野 野 野 野 野 野 野 野
いきいきタウン	585-7071	野野野3-1-1	野野野 野 野 野 野 野 野 野 野
すずらん	599-5531	高野7-18-21	高野野 野 野 野 野 野 野 野 野
かわきた	589-1710	西野山 12-1	野野野 野 野 野 野 野 野 野 野

60



## 2-2-2 ふれあい見守り推進員の手引き更新

### (1) 取組の概要

新たにふれあい見守り推進員に登録していただいた方々に、活動内容を伝えるためにお渡ししているのがふれあい見守り推進員の手引きです。

『“相手を特定しない見守り”を行うふれあい見守り推進員の登録を強化する』際に、この手引きを配布する機会が増えることから、より分かりやすい内容にすること、“相手を特定しない見守り”に関する内容を拡充することを狙って手引きの更新作業を行いました。

▼ふれあい見守り推進員の手引きのイメージ(左:更新前/16ページ、右:更新後/12ページ)



## (2) 取組の実績

手引きの記載項目を1つずつ見直し、最終的に以下のような変更を加えました。

### ▼新しいふれあい見守り推進員の手引きの構成と主な変更点

項目	内容	主な変更点
高齢者見守り支援ネットワークとは	○高齢者見守り支援ネットワークとは ○ネットワークを支える人と機関	•はじめにの文言を一部修正
「ふれあい見守り推進員」の活動	○地域の見守り（共通のお願い） ○特定の高齢者を見守る（一部の方限定のお願い）	•“相手を特定しない見守り”に関する内容を拡充 •見守りのポイントや取組例といった見守りのやり方に関する情報を追加
活動の参考情報	○個人情報について ○活動中にトラブルや事故等が発生したら ○その他のお役立ち情報	•留意点を簡潔な内容に変更 •包括公式 LINE や行方不明者情報メール配信サービスといった新しい取組に関する情報を追加
関連機関・協力者の連絡先	(同左)	•地域別に作成したものを全市共通の内容に変更

▼新しいふれあい見守り推進員の手引きの内容（活動内容を紹介するページの抜粋）

### 「ふれあい見守り推進員」の活動 地域の見守り

皆さんにお願したいのは、「普段の生活の中で周りの方をそれとなく見守り、「あれっ、おかしいな」「心配だな」と思うことがあったら地域生活支援センターに連絡すること」です。

#### ◇活動の内容

①異常発見「あれっ、おかしいな」「心配だな」

「あれっ、おかしいな」「心配だな」という気持ちを感じるため/見守るために、普段の生活の中で「見守り」を実施するようにしましょう（2ページ参照）。

地域の高齢者を  
見守るポイント



心配な力を見つけた  
場合に声をかける



2 連絡・相談「何かあったら包括へ」

実際に気付いたら「包括」へご連絡ください。連絡がしやすくなるように、お住まいの地域を担当する「包括」の連絡先を携帯用電話に登録しておきましょう。

「あれっ」と思うことが  
あった場合の対応  
(連絡先や連絡方法)



②「参考」緊急の場合には…

- 緊急の場合には消防署（119番）、警察署（119番）へ連絡をしてください。特に「倒れていて意識がない」などの危険が心配される場合には119番へ。

#### ◇活動のヒント

**道端で会う／見かける相手を見守る**

立ち話ができる相手の場合、「知度も同じ話をする」「話がかみ合わない」「急に挨拶がなくなった」等の変化は認知症のサインです。

身なりが乱れている、足下がおぼつかない、様子を伺ったという方は、体調不良や認知症が疑われます。

よく見かけていた方をあまり見かけなくなったという方も体調や気持ちの変化を感じる重要なポイントです。

**お宅の外から様子を見守る**

外で顔をあわせない方の場合には…

電気の点灯・消灯、戸の開け閉め、洗濯物の取り込みといった「動き」を徒歩や自転車に出かけたついでに見るのが良いでしょう。

**外から様子を確認しづらい見守る**

戸は閉めたまま、洗濯物は外に干さない等のお宅の場合には…

ポストに新聞や郵便がたまっていないかは集合住宅でも確認しやすいポイントです。

家の周りや庭木の手入れの状況を手がかりに、相手の体調等を把握できます。

### 「ふれあい見守り推進員」の活動 特定の高齢者を見守る

一部の「ふれあい見守り推進員」さんは…「見守って欲しい」と希望し、この方の担当として定期的に「見守り」や「声かけ」を行っています。

#### ◇活動の内容

①見守り支援のお願い

「対象高齢者」の希望や住所等を把握して、「包括」から担当となる「ふれあい見守り推進員」の候補に協力をお願いします。

②「見守り」「声かけ」の実施

「包括」が推薦して最初の顔合わせを行った活動スタートです。右ページを参考に「見守り」や「声かけ」を行っていただきます。

③活動状況の連絡・報告

＜電話連絡＞「見守り」や「声かけ」を行う中で気になることがあったら、「包括」まで気軽にご連絡ください。

＜定期報告＞ すぐに連絡するようない場合でも、「見守り」「声かけ」を行ったらその日やその後の様子を簡単に記録して、1～2か月毎に「包括」へレポートを提出していただきます。

④「参考」可燃ゴミの「声かけ回収」

「対象高齢者」の中で特に希望した方/必要のない方を対象に、ゴミ回収の作業員が玄関先で声をかけてゴミ袋を回収する「声かけ回収」という取組も行っています。

- 週2回ある可燃ごみの回収日に対象者の様子を確認することができず
- 玄関先までゴミ袋を取りに行くので、距離が遠かったりお出かけにもなります

#### ◇活動のヒント

「対象高齢者」に対する「見守り」「声かけ」は、「対象高齢者」と「ふれあい見守り推進員」の双方にとって負担にならないやり方・順番を相談して決定します。

基本は、「月1回の声かけ」と「週1回の見守り」です。

**月1回の声かけ**

対象高齢者のお宅を訪問し玄関先で挨拶をしたり、近況を尋ねたりといった「声かけ」を行います。

「お互いが心地よい関係づくり」がキーワードです。

毎週「次はいつにしますか」と確認してから訪問するようにしています。

訪問する曜日、時間を一定にしています。

それとなく見守るのはかえって嬉しいので、いつも玄関先でピンポンします。喜んで話さしてくれます。

非常に寒い月で体調を崩しているか心配だったので、いつもより早い日に声かけしました。

**週1回の見守り**

お宅の外から対象高齢者の様子を定期的に確認します。

「さりげない見守り」がキーワードです。

買物に出た時に洗濯物やカーテンはどうか、電気はついてるかなど気にするようにしています。

犬の散歩がてら家の前を過っています。

毎回家でもらうのはお互い大変なので、何かあったらこちらから電話することにして、お宅の外から様子を見守ってもらっています。

## 2-2-3 既存の協力者に対する情報発信

### (1) 取組の概要

見守り支援ネットワークでは、地域包括支援センター毎に相談協力員連絡会や地区連絡会といった会合を開催して、見守りの協力者である民生委員やふれあい見守り推進員との情報共有を図っています。

前年度から、この連絡会を通じて『“相手を特定しない見守り”を行うふれあい見守り推進員の登録を強化する』等の見守り支援ネットワークの新しい方向性について説明を行い、引き続きの協力を依頼していましたが、今年度もこの取組を継続して実施することとしました。

### ▼取組の内容

開催時期	取組項目	内容
2022年 6月	あさかわ地区 地区連絡会	• 見守り支援ネットワークの再構築に関する情報提供 • 令和元・2年はつらつ・あんしん調査の結果に関する情報提供 • 地域を見守る活動の手がかりに関する情報提供
2022年 9月	かわきた地区 地区連絡会	
2022年 10月	せせらぎ地区 地区連絡会	

## (2) 取組の実績

以下の構成を基本に、地域にあわせてデータや見守り方法をアレンジした資料を作成して、連絡会参加者への情報提供を行いました。

### ▼見守り支援ネットワークの再構築に関する情報提供

- ◇ 再構築の背景～再構築の方向性の紹介
- ◇ 再構築に向けた主な取組の紹介

独立行政法人高齢保健推進機構 文書「見守りづくりの推進所」発行

### 見守り支援ネットワークの再構築 ～見守り支援ネットワークが（少し）変わります～

**はじめに**

- 見守り支援ネットワークでは、2005年頃にモデル事業を開始して以来、地域にお住まいの方、自治体や事業所等「ふれあい見守り推進員」及び「見守り事業所」として登録し、地域の高齢者の健康維持や緊急連絡を行ってまいりました。
- しかし近年は、高齢者数が増え続ける中でニーズが多様化したため、見守りの「従来の形態」として登録する方が大きく減少しています（1,677人（2012年度）→492人（2020年度））。
- また、「ふれあい見守り推進員」についても、高齢者（対象高齢者）からの見守り希望を懸けて登録を行うことが多くなったため、登録数も減っています（2,294人（2012年度）→1,422人（2020年度））。
- 一方、市内の高齢者人口は大きく増加しており「見守る」だけでなく「見られる」も必要です。
- コロナ禍で「目撃した時に相談できる場所や人」が（再び）求められるようになっており、地域の高齢者と相談相手となつたご近所や家族の必要性も高まっています。

高齢者の困りごとや体調の変化等を早期に発見し、各種の相談や支援サービスに早期につなげることで、深刻な問題が発生するのを未然に防ぐ

**地域の高齢者への支援の入口となる見守り支援ネットワークの拡大・強化を図ります**

① 気になる方を見発見 ⇒ ② 状態が状況を把握 ⇒ ③ 「見守り」等の支援を依頼

見守り支援ネットワークの役割は、高齢者の困りごとや体調の変化等を早期に発見し、各種の相談や支援サービスに早期につなげることで、深刻な問題が発生するのを未然に防ぐことです。

「見守り支援ネットワーク」の役割は、高齢者の困りごとや体調の変化等を早期に発見し、各種の相談や支援サービスに早期につなげることで、深刻な問題が発生するのを未然に防ぐことです。

「見守り支援ネットワーク」の役割は、高齢者の困りごとや体調の変化等を早期に発見し、各種の相談や支援サービスに早期につなげることで、深刻な問題が発生するのを未然に防ぐことです。

「見守り支援ネットワーク」の役割は、高齢者の困りごとや体調の変化等を早期に発見し、各種の相談や支援サービスに早期につなげることで、深刻な問題が発生するのを未然に防ぐことです。

### 主な取組①「相手を選ばない見守り」を行う推進員さんの登録を進めます！

- 「相手を選ばない見守り」は、高齢者の生活の中で困ることになったときに、近所や家族の助けを借りて見守りを行うことです。
- 特に、「自然発生的」「無意識に動いている」といって、地域で「1対1の見守り」を実施している方が少ないです。今後、地域で自然発生的に見守りを行う方を増やします。

認知症やボケ～痴呆状態や介護予防事業の参加者  
特に困らないうつ病やメンタルケアもしている方  
高齢者や本人・家族の困りごとや体調の変化を早期に発見し、支援サービスにつなげることで、深刻な問題が発生するのを未然に防ぐ

次のステップでよく地域を歩いている方

### 主な取組② 新しい仲間を集めるために関連資料を刷新します！

- 上のステップが地域的に必要だとわかったために、「相手を選ばない見守り」に関する資料を刷新し、登録・登録促進の資料やチラシやパンフレットを作成しています。

「相手を選ばない見守り」の登録促進の資料を作成しています。

「相手を選ばない見守り」の登録促進の資料を作成しています。

### 主な取組③ 活動が地めやすい／続けやすい環境をつくります！

- 「週1回程度の見守り」や「週1回程度の見守り」といって活動することが難しく、活動内容がぼんやりしているのが「相手を選ばない見守り」の課題です。
- そこで、新たに推進員となった方が簡単に始められるよう、対象高齢者の近い、身近な場所での見守り活動の推進員さんが「もう少し活動を増やそう」と思っていたら、活動のヒントとなるような情報発信なども行っていきます。

見守りのヒントをまとめた、資料を作成することがあります。

活動のヒントをまとめた、資料を作成することがあります。

活動のヒントをまとめた、資料を作成することがあります。



## コラム 活動のポイントを紹介する動画

「説明会」(2-2-1)の中で、またふれあい見守り推進員の手引き(2-2-2)や地区連絡会を通じた既存の協力者に対する情報発信(2-2-3)の中で、前年度に作成した動画を使って、地域の見守り活動のポイントを紹介しました。

ここでは、「地域の高齢者を見守るポイント」「何か気になった時の連絡の仕方」「心配な方に声をかける方法」の3つの動画の中で、「地域の高齢者を見守るポイント」の概要を掲載します。

### ▼地域の高齢者を見守るポイント

#### ①近所で見かける方の場合



近所で見かける方、  
顔は知っているという方は…

#### ①近所で見かける方の場合



定期的に見かけるかどうかを  
意識するのがポイント

#### ②外で会わない方の場合



外で会わない方の場合には、  
外に出たついでに…

#### ②外で会わない方の場合



電気の点灯／消灯、雨戸の開け閉め、  
洗濯物の取り込みといった動きを見るのが◎

#### ③集合住宅などの場合



集合住宅では…ポストに新聞や  
郵便が溜まっているかが確認しやすい

#### ④雨戸や洗濯物、ポスト等が確認しづらい場合



家の周りや庭木の手入れなどを手がかりに  
相手の体調等を想像することもできる

## 2-3 今年度の取組の達成状況と次年度の対応案

各取組の実施状況を踏まえて今年度の成果と課題、今後の対応案を以下の通り整理しました。

### ▼成果・課題・対応案

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度に確認した『“相手を特定しない見守り”を行うふれあい見守り推進員の登録を強化する』という方向性にもとづいて、見守り支援ネットワークの再構築を具体的に進めることができました。</li> <li>新規の協力者候補に向けに開催した地域の“見守り”に関する説明会では、新たに10名の方にふれあい見守り推進員として登録していただくことができました。</li> <li>新規の協力者候補向けには、他にふれあい見守り推進員の手引きの更新も行いました。</li> <li>既存の協力者には、前年度と同様に地区連絡会に参加して情報提供を行っています。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>「説明会」では大きな成果がありましたが、見守りが必要な方の人数（8ページ参照）を考えると、まだまだ十分ではありません。</li> <li>「説明会」の開催内容についても地域包括支援センターからいくつかの改善点が指摘されています。</li> <li>この2箇年で既存の協力者への働きかけを行ってきましたが、まだ全ての地域の連絡会で説明ができている訳ではありません。また、連絡会で情報提供を行った地域でも、当日参加できなかった方に対するフォローを行うことが重要です。</li> </ul>
対応案	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回開催した「説明会」の次の展開として、令和5年度には登録済の方向けの研修会（仮）の開催し、既存の協力者に対しても新しい働きかけを行うことを検討します。</li> <li>「説明会」については、今後も継続して開催できるように、地域包括支援センターから受けた指摘等を反映して内容の改善を図ります。</li> <li>その他、前年度に検討した取組の中でまだ実施していない以下のような内容を実施することも検討します。             <ul style="list-style-type: none"> <li>－特典グッズの提供</li> <li>－地域の活動団体の調査・情報提供</li> <li>－地縁団体等への協力依頼文書の作成</li> </ul> </li> </ul>



# 第3章「ネットワーク運営に関するその他の支援」

## 3-1 取組の概要

「個別の取組の実施支援」(第1章)や「より良いネットワークの構築支援」(第2章)は、参考となる情報を収集し、関係者の中で検討を行った上で、地域への働きかけ等の具体的な作業を行うという進め方をしています。

この作業の中心となるのが、事項で紹介する「見守り支援ネットワーク検討部会」です。

### ▼現在実施している取組

作戦本部的な機能を持つ検討部会の開催



「ニュースレター」による事業PRの実施



他自治体の先進事例や国、都の動向の検討調査



## 3-2 各取組の実施状況

### 3-2-1 検討部会の開催

#### (1) 取組の概要

「見守り支援ネットワーク検討部会」は、見守り支援ネットワークの作戦本部的な機能を持つ場として2014（平成26）年度に立ち上げた会議です。メンバーは地域包括支援センターと高齢福祉課で構成し、見守り支援ネットワークの活動方針を検討するほか、各地域の取組状況の共有などを行っています。

今年度の検討部会は、「より良いネットワークの構築支援」（第2章）の中で取り組んでいる「地域の“見守り”に関する説明会の開催」（2-2-1）等の企画を中心に、前年度から続くメール配信の内容や、今年度の新しい検討テーマとなったはつらつ・あんしん調査の見直しについて検討を行っています。

#### ▼実施スケジュール

開催時期	取組項目	内容
2022年 7月19日	2022年度第1回見守り支援ネットワーク検討部会	<ul style="list-style-type: none"><li>令和4年度の検討部会の進め方について</li><li>令和4年度の具体的な取組について</li></ul>
10月13日	2022年度第2回見守り支援ネットワーク検討部会	<ul style="list-style-type: none"><li>見守り支援ネットワークの再構築（説明会の開催）について</li><li>はつらつ・あんしん調査の実施手法の改善（新しい調査票）について</li><li>メール配信を通じた意識啓発（今後の配信計画と内容）について</li></ul>
2023年 1月24日	2022年度第3回見守り支援ネットワーク検討部会	<ul style="list-style-type: none"><li>見守り支援ネットワークの再構築について</li><li>はつらつ・あんしん調査票の改善について</li><li>メール配信を通じた意識啓発について</li></ul>

## (2) 取組の実績

今年度は、計3回の検討部会を開催し、以下のような検討を行っています。

### ▼2022年度第1回見守り支援ネットワーク検討部会

開催日時	2022（令和4）年7月19日（火）9：30-12：00
開催場所	日野市役所504会議室
参加者	<包括支援センター>：9包括の相談員 計9名 <事務局>：日野市高齢福祉課、委託事業者 計6名
プログラム	0. 開会 <b>【報告事項】</b> 1. 高齢福祉課からの報告 2. 各包括の活動状況等の報告 <b>【検討事項】</b> 1. 令和4年度検討部会の進め方について 2. 令和4年度の具体的な取組について ①見守り支援ネットワークの再構築 ②メール配信を通じた意識啓発 ③ふれあいサロンの新規立ち上げ ④はつらつ・あんしん調査の実施手法の改善 3. その他
議事概要	1. 高齢福祉課より、以下の情報提供や依頼を行った。 -対象高齢者の新しい登録書式を配布している -ふれあい見守り推進員を募集する新しいチラシを配布している -はつらつ・あんしん調査の速報をもうすぐ送付する予定である -「互近助（ごきんじょ）サービスちょこすけ」がスタートしている 2. 令和4年度の検討部会の進め方を確認した。 3. 令和4年度の見守り支援ネットワークの進め方について、取組毎に意見交換を行い以下のような方向性を確認した。 -見守り推進員の手引きを改訂するため要修正箇所を確認する -新しい協力者の獲得に向けて講習会（仮）の開催を検討する -「協力事業所の紹介」をはじめとするメール配信のコンテンツ制作を進める -ふれあいサロンの新規立ち上げを促進すべき地域の絞り込みを検討する 4. はつらつ・あんしん調査を改善するため、今後どのような内容の調査を行うべきか意見交換を行った。

## ▼2022 年度第 2 回見守り支援ネットワーク検討部会

開催日時	2022（令和 4）年 10 月 13 日（木）9：30～12：00
開催場所	日野市役所 101 会議室
参加者	<包括支援センター>：9 包括の相談員 計 9 名 <事務局>：日野市高齢福祉課、委託事業者 計 6 名
プログラム	0. 開会 <b>【報告事項】</b> 1. 高齢福祉課からの報告 2. 各包括の活動状況等の報告 <b>【検討事項】</b> 1. 見守り支援ネットワークの再構築（説明会の開催について） 2. はつらつ・あんしん調査の実施手法の改善（新しい調査票について） 3. メール配信を通じた意識啓発（今後の配信計画と内容について） 4. その他
議事概要	1. 一般市民に対して地域の見守り等の紹介を行う「説明会」の開催日時や実施内容について確認した。また、「説明会」の開催に向けて、地域包括支援センターに対してグループワークの進行と活動紹介をしていただくふれあい見守り推進員の推薦を依頼した。 2. ふれあい見守り推進員の手引き（改訂案）の内容を確認し、最終版の作成に向けて修正すべき内容を検討した。 3. はつらつ・あんしん調査の改善に向けて、調査票の中身を 1 つずつ確認し、残すべき質問、修正すべき質問、省略すべき質問を整理した。 4. ふれあいサロンの新規立上げの働きかけを行う候補となる地区がどこかを検討した。 5. メール配信の次のテーマを選定し、そのテーマを伝える上で注意すべき点を確認した。

### ▼2022 年度第 3 回見守り支援ネットワーク検討部会

開催日時	2023（令和 5）年 1 月 24 日（火） 9：30～12：00
開催場所	日野市役所 101 会議室
参加者	<包括支援センター>：9 包括の相談員 計 9 名 <事務局>：日野市高齢福祉課、委託事業者 計 6 名
プログラム	0. 開会 <b>【報告事項】</b> 1. 高齢福祉課からの報告 2. 各包括の活動状況等の報告 <b>【検討事項】</b> 1. 見守り支援ネットワークの再構築 2. はつらつ・あんしん調査票の改善 3. メール配信を通じた意識啓発 4. その他
議事概要	1. 高齢福祉課より、新しいふれあい見守り推進員の手引きを手渡し、新規登録者に配布してもらうよう依頼した。 2. 11 月に開催した「説明会」の振り返りを行い、今後の開催方針として以下の内容を確認した。 － 次年度は登録済の方向けの研修会（仮）の開催を検討する － 研修会（仮）は普段の連絡会とは異なる方法で開催する － 「説明会」は次の開催に向けてまずは開催方法の改善を図る 3. はつらつ・あんしん調査の調査票（変更案）について意見交換を行い、一部の設問の修正点を確認した。 4. メール配信の次のテーマを選定し、動画の構成案の修正点を確認した。 5. 次年度の検討部会の開催予定を報告した。

## 3-2-2 事業PRの実施

### (1) 取組の概要

見守り支援ネットワークは、社会的にも孤立しがちな高齢者を地域での支えあいを通じ見守り、支援することによって「安心していきいきと暮らせるまち」づくを目指すものです。こうした支えあいには市民の理解と協力が不可欠であることから、事業開始当初から「ニュースレター」を作成して、現在の取組内容の報告や市内外の活動の紹介などを行い、見守り支援活動に関する理解の促進と普及啓発を図っています。

今年度は、この「ニュースレター」を2号作成しました。その他、協力事業所の増減やふれあいサロンの新設や移転に対応してそれぞれの活動を紹介する資料の更新作業も行っています。

#### ▼「ニュースレター」の主な配布場所

- ◇ 市役所の窓口、地域包括支援センター
- ◇ 地域のスーパーや薬局等の協力事業所
- ◇ 図書館、公民館、郷土資料館、市民会館やふれあいホール等の文化施設
- ◇ 集会施設や福祉センター等の地域住民が集まる施設
- ◇ 生活保健センターや支所、社会福祉協議会等の公的機関の窓口 など

#### ▼事業PRの実施内容

発行／開催時期	取組項目	内容
2023 年春号	ニュースレター第 40 号の作成	・地域の“見守り”に関する説明会を開催しました！
	ニュースレター第 41 号の作成	・最新の高齢者調査の結果がまとまりました！
2022 年 6 月	協力事業所紹介資料の更新 (地域包括支援センター担当地域毎)	・新規登録／登録廃止となった事業所を反映する修正を実施
12 月	ふれあいサロン紹介資料の更新	・新設のサロンに関する説明の追加や位置図の修正を実施

## (2) 取組の実績

ニュースレターでは、今年度を実施した説明会やはつらつ・あんしん調査の分析結果の紹介を中心に、ネットワークの協力者の活動にも触れるような構成としています。

### ▼ニュースレター第40号の概要

発行時期	2023年春号
内 容	<b>特集「地域の“見守り”に関する説明会を開催しました！」</b> <u>&lt;表面/1ページ&gt;</u> ・リード文 ・説明会の開催概要 <u>&lt;内面/2・3ページ&gt;</u> ・説明会における活動紹介の概要 ～地域で見守り活動を行う具体的なやり方～ <u>&lt;裏面/4ページ&gt;</u> ・地域の“見守り”の仲間をご紹介

### ▼ニュースレター第41号の概要

発行時期	2023年春号②
内 容	<b>特集「最新の高齢者調査の結果がまとまりました！」</b> <u>&lt;表面/1ページ&gt;</u> ・リード文 ・はつらつ・あんしん調査の概要 <u>&lt;内面/2・3ページ&gt;</u> ・調査から見えてくる傾向 ～令和3・4年調査の結果から～ 3種の分析とこれに該当する方を支える仕組みの紹介 <u>&lt;裏面/4ページ&gt;</u> ・「ふれあいサロン」に関するお知らせ

## ▼ニュースレター第40号の内容

### 地域の「見守り」の仲間をご紹介します

市内には、「ふれあい見守り推進員」の他にも、地域の見守りに協力していただいている方がいます。

業務を通して高齢者と接する中で異変を発見する  
協力事業所（約470事業所）



- 〒込詐欺などが多発したことをきっかけに多くの銀行が協力事業所になっています。
  - ▶ 通帳の紛失・再発行を繰り返している方がいるといった連絡が入ります
- お客様という性格をする機会のある美容室からも連絡が多くあります。
  - ▶ お店の中で髪をカットする方がいるという連絡があり、地域福祉支援センターの担当がお宅を訪問するということがありました
  - ▶ このコースでは、日常の生活動作にやや不安があり、美容師の方からの声かけもあつたため、介護保険の申請をスムーズに行うことが出来ました

- 配達地域を回るお弁当屋さんや新聞屋さんも登録しています。
- ▶ 配達の際に反応がない、元気がなかった、等の連絡が多くあります
  - ▶ 怪しい業者が入り入りにしているという連絡を受けて、消費生活センターを紹介し、悪手を断ることができたということもありました

歌やウォーキングの習慣を活かして地域を見守る  
わんたま見守り隊（包括多摩川流域地域の取組です）



雨が特別なことをするのではなく、「愛犬との散歩の時に」毎日の散歩の時間に「ウォーキングついでに」自分の時間を少し空けていただける方を隊員として登録しています。

※多摩川流域（西武寺・大字上田・大字川辺内・大字日野・大字宮・石田・大字石田（西川北））にお住まいの方は、以下までお問い合わせください。

名称	所在地	連絡番号
地域福祉支援センター多摩川苑	万歳寺1-16-1 (マリアス日野内)	042-582-1707

※地域福祉支援センター ありりりでも、大の賑わりのついでに地域を見守っていただく方の登録を行っています。

日野市高齢福祉在宅支援係（高齢者見守り支援ネットワーク担当）

電話：042-514-8496（直通） / FAX：042-583-4198  
E-mail：kourui\_zaitaku@city.nihon.biz

(※) このお知らせは再生紙を使用しています。このお知らせを廃棄するときは、資源ゴミとして出してください。

### 日野市高齢者見守り支援ネットワーク ニュースレター 第40号 2023年春号

見守りの輪を広げるために…

### 地域の「見守り」に関する 説明会を開催しました！



新型コロナウイルスによる影響が長引く中で、地域の高齢者の支援の入口となる「見守り支援ネットワーク」の重要性が高まっています。

「見守り支援ネットワーク」の活動をさらに広げるために、「ご近所の様子に気になる方」や「気軽にできるボランティアを探している方」をターゲットに、「見守り」の活動を紹介する説明会を開催しました。

- ☞ 説明会で聞いた実際の見守りのやり方をご紹介します（内面）
- ☞ その他の「見守り」の取組をご紹介します（背面）

### 説明会の開催概要

11月21日（月）と24日（木）に以下の内容で説明会を開催しました。内面では、「②活動紹介」の様子をご紹介します。

①概要説明	②活動紹介	③グループトーク
まず日野市から「見守り」のポイントやお勧めのやり方、困った時の相談窓口等を紹介しました	実際に「見守り」を行っている方からどんな連絡をしているか話を聞きました	活動の紹介者、地域福祉支援センターの職員を回って、テーブル毎にさらに詳しく話を聞く時間を設けました



### 活動紹介の概要 ～地域で見守り活動を行う具体的なやり方～

説明会の中では、「ふれあい見守り推進員」として「見守り」を実践する3名の方に、どんな活動を行っているか教えていただきました。ご近所の様子に気になる方、既に「ふれあい見守り推進員」として活動している方も、是非参考にしてみてください。

	Aさん	Bさん	Cさん
ふれあい見守り推進員としてどんなことをしていますか？	近所には80代の方が多く、声をかけたりできることはやってあげたいと思っています。「声でもできる自然体の交流」がモットーです！ 最近、車で声をかけた方に「おしりかけてもらえて嬉しい」と言われ、自慢の愛車にコミュニケーションの大成功を実感しました。	車の多い地域なので、買い物から寄り道が入るような方いたら地域福祉支援センターに連絡することがあります。 ご近所から何か相談されたら答えられるように、高齢者の目に立ちそうな情報を集めていつ聞かれても良いよう準備をしています。	サロン活動を通じて知り合いが多いので、外で声をかけたらお声をかけるようにしています。 「音も元気がないな」「しばらく顔を会っていないけれど大丈夫かな」という方については、他のサロンのスタッフと連携して様子を確認するようにしています。
特定の方を見守る時はどんな活動をしていますか？	特定の高齢者の見守りを行うことになった当初から、相手の方の許可を2段階して実施表でお返しています。 最近では、お体が少し弱ってこられたのでお宅に書いた郵便物の受け取りなどのお手伝いもしています。	ひとり暮らしをする高齢者のお宅へ、一緒に活動する仲間と定期的に訪ねる活動をしています。 こちらから訪問するだけでなく、地区センターで、お買物や、地域のイベントの準備を一緒にする機会も増えています。	特定の高齢者のお宅を訪問する代わりに携帯電話（LINE、アプリ）を使って、メッセージのやり取りをしています。 必ず返信をしなければならぬような返信しないやり取りではないため、負担なく続けられています。相手の方からも「こんなことがあった」という連絡が時々入ります。

### 〈参考〉「ふれあい見守り推進員」とは？

活動①地域の見守り（1通のお問い合わせの応答の中で「おれっ、おかしいな」「心配だな」と思うことがあったら地域福祉支援センターへ連絡します。

地域の「見守り」の担い手として、気になることを見つけたら地域福祉支援センターに連絡するボランティアのみです。

活動②特定の高齢者を見守る（一部の方限定のお問い合わせ）  
「見守って欲しい」と希望する方へ、定期的に見守り活動を行います。  
CAICOR、おしりかけ隊

3名の方の活動紹介は参考になりましたか？  
「もっとこんな話を聞いてみたい」あるいは「私はこんなやり方をしている」という方は、背面の連絡先までご一報ください！



## ▼ニュースレター第41号の内容

### 「ふれあいサロン」に関するお知らせ

「ふれあいサロン」はいつでも気軽に立ち寄れる地域のたまり場です。各サロンでは、オープン時間中はいつでもおしゃべりができるほか、絵手紙、書道、囲碁・将棋等の趣味の活動や、歌の会、体操の会といった催しも行っています。気軽に足を運んでみてください！

ふれあいサロン全12箇所の所在地は…

詳しくは、以下のお問合せ先にお住まいの地域を担当する地域包括支援センターまでお問合せください。



### 新しいふれあいサロン「この街八坂サロン」

令和4年10月に、市内12箇所目となるサロン「この街八坂サロン」が以下の通りオープンしました。

ご案内：高輪橋から北野街道を南平駅方面に向かい、「ドラマ」という店舗の前の道のを下へ八坂神社内にある「南平地区センター」で週3日開設しています



○所在地：南平4-8-6 南平地区センター  
 ○開設日：体操・唱歌 第1・3月 13～16時  
 縁投げ・将棋 第1・3木 13～16時  
 麻雀 第1～4金 9～17時  
 ※ウォーキングも不定期開催しています  
 ○参加費：無料

### 日野市高齢福祉課在宅支援係(高齢者見守り支援ネットワーク担当)

電話：042-514-8496(直通) / FAX：042-583-4198  
 E-mail：kourei\_zaitaku@city.hino.lg.jp

(※) このお知らせは再生紙を使用しています。このお知らせを複製するときは、資源ゴミとして出してください。

### 日野市高齢者見守り支援ネットワーク

ニュースレター 第41号 2023年春号2

いつもご協力ありがとうございます

### 最新の高齢者調査の結果がまとまりました！



日野市では、市内在住の75歳以上の方の健康状態や生活状況を把握するために、「はつらつ・あんしん調査」という調査を毎年実施しています。今回はこの調査から見えてくる傾向を内面でご紹介します。

調査は、皆さまのご理解とご協力のおかげで毎年90%近い高い回収率となっており、高齢者支援の貴重な手がかりとなっています！

調査の結果をもとに介護予防のご案内をしたり、見守り支援の登録を行ったり、次ページのような分析を行って施策の検討に役立てたりしています。調査のおかげで「緊急時にお宅や親族に連絡をすることができた」ことも何度もあります。

### はつらつ・あんしん調査の概要

■調査対象：当該年度の4月1日現在、75歳以上のうち単独年齢の方  
 ・介護認定を受けている方や特定の施設に入院・入所している方を除く  
 (2年に1回、市内在住の該当者全員を調査しています)

■調査内容：令和4年度は以下の9つの設問で調査を行いました

- ①世帯の状況
- ②日中ひとり暮らしの状況
- ③現在の健康状態
- ④定期的な運動や活動の有無
- ⑤外出や階段の移動における支障の有無
- ⑥日常の交友状況
- ⑦携帯電話の利用状況
- ⑧見守り支援ネットワークへの参加希望
- ⑨見守り支援ネットワークのボランティアの関心

■調査方法：郵送配布・郵送回収  
 ・指定の期間内に郵送による返送がなかった方の中には、地域の民生委員が訪問して市への返送をお願いする場合があります

## 調査から見えてくる傾向 ～令和3・4年調査の結果から～

調査対象者の6割以上を占める約1万人の方が高齢者のみの世帯(ひとり暮らしまたは高齢のご夫婦等)となっています

市内の高齢者の状況を「見守りが必要な方」「交流が必要な方」「お手伝いが必要な方」という3つの視点からまとめてみました。

3つの調査結果の下部には、このような方々を支える仕組みについてもご紹介しています。

※例えば、「見守りが必要な方」(正確には「見守りが必要かもしれない方」)の人数は、「現在の健康状態」「世帯状況」「日中ひとり暮らしの状況」という3つの設問の結果から集計しています。



上の仕組みを利用したい方、ボランティアとして参加したい方は、お近くの地域包括支援センター または 高齢福祉課までご相談ください！

### 3-2-3 先進事例の検討調査

#### (1) 取組の概要

見守り支援ネットワークでは、既存の取組の改善や新しい取組の検討を図るにあたって、参考となる他自治体の先進事例や国、都の動向を調査しています。

今年度は、まずはつらつ・あんしん調査の見直しの検討に関連する事例、その後は『“相手を特定しない見守り”を行うふれあい見守り推進員の登録を強化する』等の取組をさらに進めて行くために、日野市の見守りとは少し異なる取組や一歩進んでいると思われる取組の事例を収集しました。

#### ▼先進事例の検討調査の概要

実施時期	調査項目	調査内容
2022年4月 ～2022年7月	はつらつ・あんしん調査の見直しの検討に関連する事例	・高齢者の生活実態やニーズについて悉皆調査を行う事例について、調査項目と調査結果の活用方法等を調査
2022年10月 ～2023年3月	『“相手を特定しない見守り”を行うふれあい見守り推進員の登録を強化する』等の取組のヒントとなる事例	・現在の取組の延長線上にあるような事例だけでなく、日野市とは少し方向性の異なる内容の事例も含めて調査



## (2) 取組の実績

高齢者の生活実態調査・ニーズ調査に関する事例については、八王子市、和光市の情報を収集しました。

『“相手を特定しない見守り”を行うふれあい見守り推進員の登録を強化する』等の取組のヒントとなる事例については、取組の内容から「見守り・声かけの取組」「安否確認の取組」「高齢者側への働きかけ」「その他」等に分類し、それぞれ特徴的なものを抽出しました。

前者については、実際の作業が事例とはやや異なる内容になったことから、ここでは今後参考になる部分が多いと思われる後者の事例を掲載します。

### ▼見守り・声かけの取組の事例

- ◇ “相手を特定しない見守り”を強化するための参考として、子どもの見守り等のその他の活動分野もカバーする事例や、促進用のグッズを作成する事例等を収集
- ◇ その他、「かるた」を作成するなど見守りに関する情報発信の方法を工夫している事例も収集

事例	主な内容
北区「志茂ジェネ ～世代をつむぐプロジェクト～」	・異なる世代がお互いに支え合う仕組みづくりという目標のもと、登下校の見守り（あいさつ運動）や交流の場づくりを一緒に進める事例
足立区「わがまちの孤立ゼロプロジェクト」	・グッズ（下左図参照）を用意して地域の中で見守り活動等を始めようとする団体の背中を押す事例
町田市「見守りかるた」	・市民が見守りのポイントを楽しみながら学ぶためのツールとして「かるた」（下右図参照）を作成・配布する事例
足立区「絆のあんしんネットワーク活動報告事例集」	・見守り活動を行う人の参考になるような区内の活動事例を集めた年次報告書を作成している事例



※ 左：足立区HP、右：町田市HPより

### ▼安否確認の取組の事例

◇ 再構築後の見守り支援ネットワークが目指す方向性とは少し異なるものの、もう一歩踏み込んだ見守りを行う以下のような事例も収集

事例	主な内容
群馬県前橋市「下小出町防犯パトロール隊」	・ひとり暮らし高齢者のお宅を巡回する際に、活動報告を作成したり、不在者には書置きを残したりといった細かな対応を行う事例（下図参照）
台東区等「乳酸菌飲料の配達」	・一定の条件を満たすひとり暮らし高齢者宅に、乳酸菌飲料を無料で週2回配達することによって安否確認を行う事例



※ 前橋市社会福祉協議会HPより

### ▼高齢者等への働きかけの事例

◇ 対象高齢者の減少に対応するヒントとして、見守りを希望しない方も登録したくなるようなメリットを用意している事例や、登録内容を工夫している事例を収集

事例	主な内容
鎌倉市「高齢者見守り登録制度」	・近所の懇意の方、かかりつけ病院や持病といった詳細な情報を登録した方に、民生委員による訪問や誕生会等の行事の案内、緊急通報システムの利用申込み等のサービスを提供する事例
大田区等「高齢者見守りキーホルダー」	・緊急連絡先や医療情報等を登録した方に、外出先で突然倒れた時に役立つキーホルダーを渡して、行政とつながること（登録）を促す事例（次ページの図参照）
横須賀市「終活登録制度・エンディング・サポート事業」	・終活情報を市に登録して、万が一の時は市役所が対象者からの照会に対応する仕組みを構築している事例 ・さらに、一定の条件を満たす方には葬儀・納骨等の具体的な検討のサポートも行っている

（↓次ページへ続く）

(↓次ページからの続き)



※ 「おおた高齢者見守りネットワーク (みま~も)」 HP より

### ▼その他の事例

◇ 地域の見守りの拠点となる「ふれあいサロン」を支援する少し変わったやり方として、近隣の八王子市の事例を収集

事例	主な内容
八王子市「シニアクラブ・サロンの活動で使えるサポート企業提供メニュー」	・市と協定を結んだ企業に健康づくり等のメニューの提供を呼びかけて、サロン活動の側面支援を行う事例（下図参照）

他に、「エンディングノートの書き方」や「ハンドマッサージ」等

内 容	人数	価 格	開催場所・出張範囲	問合せ先	備 考
足腰の衰えに不安がある方、自宅や集会所へ出張してトレーニングを行います。楽しい筋力トレーニング・ヨガ・ピラティスをご提供します。その他、健康と運動のセミナーを開催できます。	5 〜 40 名	1時間 7,000円 (出張費含む) 30分 4,000円 (出張費含む)	市内全域出張可	出張パーソナル トレーニング 神明町3-8-17 エクセレント 京王八王子1F ☎042-649-5459 担当:遠藤 一正	
足腰が不安で杖を突いている方でも痛みや転倒の心配をせずに運動ができるゴム免荷式運動器具「スペースワンダー」を使用する運動教室をデイサービスの休業日を活用した毎月第2・第4日曜日に開催します。	5 〜 12 名	1回1人 500円	ヒーリングベル めじろ台にて めじろ台2-70-5 カーサバセオ1階 「めじろ台二丁目」 バス停下車すぐ	株式会社テクノブレイン 高尾オフィス 高尾町1547-1 ☎090-5455-3695 担当:平舘 花奈	スペースワンダー 運動教室 毎月第2・4日曜日 14時~15時30分 (予約制) 

※ 八王子市HPより

### 3-3 今年度の取組の達成状況と次年度の対応案

各取組の実施状況を踏まえて今年度の成果と課題、今後の対応案を以下の通り整理しました。

#### ▼成果・課題・対応案

成果	<p>《検討部会の開催》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計3回の検討部会を対面開催に戻して開催することができました。</li> <li>検討部会での議論を通じて、ネットワーク全体の活動を前進させる地域の“見守り”に関する説明会の開催(2-2-1)や、ふれあい見守り推進員の手引きの更新(2-2-2)等を実施することができました。</li> </ul> <p>《事業PRの実施》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の“見守り”に関する説明会を通じて事業PRと新しい協力者の獲得を行うことができました。説明会の開催にあたっては、市報や「メール配信」を通じた情報発信も行っています。</li> <li>その他、ニュースレターの作成や、協力事業所及びふれあいサロンの紹介資料の更新も行いました。</li> </ul> <p>《先進事例の検討調査》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度さらに今後の検討に役立つ情報を収集することができました。</li> </ul>
課題	<p>《検討部会の開催》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は取り扱う内容がやや多かったためか、検討が会議の時間内に収まらず、会議終了後に改めて地域包括支援センターの意見を確認する機会が発生しました。</li> <li>また、これに関連して、会議の中で各地域の活動状況に関する情報交換を行う時間がやや短くなってしまいました。</li> </ul> <p>《事業PRの実施》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業PRの基本となっているニュースレターを発行するタイミングがずれたことで、既存の協力者への情報提供に間が空いてしまいました。</li> <li>「メール配信」(1-2-4)も、コンテンツ(動画)の作成が作業の中心となり、メールの配信を計画的に実施することができませんでした。【再掲】</li> </ul> <p>《先進事例の検討調査》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>はつらつ・あんしん調査の見直しの検討に関連する事例の調査では、実際の作業が事例とは異なる方向性に進み、ちょうど良い事例を収集するのが難しいと感じることがありました。</li> </ul>
対応案	<p>《検討部会の開催》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度実施した説明会や更新した手引きのさらなる展開を図るにあたって、包括毎・圏域毎の取組と適切に連携できるように、検討部会を通じて地域包括支援センターとの密な情報共有や地域の活動状況を反映した取組内容の検討を進めます。</li> <li>今年度に行ったはつらつ・あんしん調査の見直しの効果検証も行います。</li> </ul> <p>《事業PRの実施》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作り溜めた動画やチラシ等を活用して市民に対する定期的な情報発信に努めます。【再掲】</li> <li>ニュースレターもコンテンツの1つだと捉えて、より多くの市民に情報を届けるツールである「メール配信」を中心に、効率的に市民の意識啓発と見守り事業のPRを行う体制の再構築を検討します。【再掲】</li> </ul> <p>《先進事例の検討調査》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>検討の助けとなる事例を求めて、『“相手を特定しない見守り”を行うふれあい見守り推進員の登録を強化する』等の取組のヒントとなる事例の検討調査を継続します。</li> </ul>

2022（令和4）年度  
日野市高齢者見守り支援ネットワーク事業報告書

---

発行 2023年4月

編集 日野市健康福祉部高齢福祉課

〒191-8686

東京都日野市神明 1-12-1

電話 042（514）8496

<http://www.city.hino.lg.jp/>

---